

教 育 要 覧

令和4年度

大竹市教育委員会

目 次

I 大竹市の概況

1 大竹市の沿革	1
----------	---

II 教育行財政

1 大竹市教育施策大綱	3
2 教育行政	5
3 教育財政	16

III 学校教育

1 令和4年度大竹市教育委員会学校教育概要図	20
2 小・中学校等の現況	21

IV 生涯学習

1 令和4年度大竹市教育委員会生涯学習概要図	31
2 令和3年度生涯学習事業	33
3 社会教育施設	39
4 スポーツ施設	47
5 社会教育関係委員	51
6 社会教育・社会体育施設等一覧	54
7 その他資料	57



大竹市民憲章

わたくしたち大竹市民は、古い伝統と、美しい自然に恵まれた郷土に誇りと自覚をもち、豊かで住みよい理想のまちをきずくため、この憲章を定めます。

- 1 自然を愛し、環境をととのえ、住みよいまちをつくりましょう。
- 1 スポーツに親しみ、健康で、活気にあふれるまちをつくりましょう。
- 1 働くことに誇りと喜びをもち、若竹のように、伸びゆくまちをつくりましょう。
- 1 みんなの幸せを願い、力を合わせて、楽しく、明るいまちをつくりましょう。
- 1 教養を深め、文化のかおり高い、平和なまちをつくりましょう。

(昭和49年5月15日制定)

I 大竹市の概況

1 大竹市の沿革

大竹市は、広島県の西部県境に位置する臨海工業都市です。

市域はその昔、遠管郷おかのきとと呼ばれ、古代山陽道の要路にあたっており、遠管駅がおかれていました。中世になると、厳島社領や毛利氏の領地となり、関ヶ原の合戦以後は、この地を福島氏が治め、小方に亀居城を築いて防長二国を支配する毛利氏に備えました。その後、元和5(1619)年の福島氏の改易によって浅野氏がこれに代わり、その家老である上田氏の領地にあてられました。

幕末の動乱期には、長州之役の戦禍を受け、沿岸部のほとんどの民家が灰じんに帰しています。明治維新以降、国家の治安が確立され、明治、大正、昭和と幾多の変遷を経て、昭和29年9月、大竹町、小方町、玖波町、栗谷村、松ヶ原地区(友和村の一部)が合併し、大竹市が発足し、今日に至りました。

市域の産業は、明治には和紙生産、鱈網漁業を中核として発展しました。特に和紙は、木野川(小瀬川)の良水に恵まれ、全国に名声を高めました。

大正5年、工業都市へのさきがけとして大倉組山陽製鉄所が現在の御幸町に建設されましたが、大正11年には軍縮の余波を受けて閉鎖されています。

昭和に入り、8年には三菱ケミカルの前身である新興人絹がこの地に進出しました。一方、新開地に海兵団、潜水学校などが設けられ、第2次世界大戦中は、海軍の重要な軍事基地としての役割を果たしました。

昭和20年の終戦と同時に軍事的要素は一掃され、日本経済の復興の波に乗って平和産業としての重化学工業の誘致気運が高まりました。

昭和29年9月、市制が施行されてから、市の積極的な工業都市建設計画により企業誘致が行われ、化学繊維・パルプ・石油化学工業を中心とする大企業5社と、既存の大企業2社を含める7大企業が沿岸部に立ち並び、瀬戸内海工業地帯の一角として飛躍的な発展を遂げました。

近年は、少子化などによる人口減少などの恒常的な諸問題に加えて、多発する豪雨災害などの自然災害などにより、激変・急変する市民生活へ対応する必要性が迫られています。今後も市民の方々が安心して住み続けられるまちづくりを行うため、何十年先も守りたい市民の方々の幸せを具現化した理想のまちの姿を描き、その実現に向けて市民の方々と行政が一体となって進めていく未来志向の新しいまちづくりの計画として、令和3年3月に「大竹市まちづくり基本構想」及び「第1期大竹市まちづくり基本計画」を策定しました。これらの計画をもとに、この大竹の地にこれまで培われてきた多様な産業、豊かな文化、美しい自然など多彩な地域資源を生かし、雇用創出や子育て支援などの施策を総合的かつ計画的に実施しています。今後もこれまでのまちの良さや、市民の方々の考えている幸せを守り、そしてより高めていくことで、市民の方々が「大竹は良いまちだ」「大竹が大好きだ」と自信を持って言うことができるまちづくりを進めていきます。

土地等

市制施行 昭和29年9月1日
面積 78.66km²

地区別面積 (単位:km ²)	小方	栗谷	玖波	大竹	松ヶ原
	29.09	28.35	12.83	7.68	0.71

地目別面積 (単位:km ²)	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他
	1.30	1.62	6.17	0.16	21.22	0.36	0.54	1.67	45.62

主な山岳 三倉岳〔標高701.8m〕
 主な河川 小瀬川〔延長58.5km〕、玖島川〔延長24.7km〕
 主な島 阿多田島(猪子島を含む)〔面積2.53km²〕
 市役所の位置 北緯:34度14分17秒、東経:132度13分20秒
 市の木・市の花 市の木:クロガネモチ、市の花:サツキ
 (昭和49年5月15日制定)

人口

地区別人口(令和4年4月1日現在)

区分	世帯数	人口(単位:人)		
		総数	男	女
総数	12,881	26,234	12,851	13,383
大竹地区	6,626	13,614	6,785	6,829
小方地区	3,905	8,189	3,993	4,196
玖波地区	2,098	3,992	1,864	2,128
栗谷地区	252	439	209	230

年齢別人口(令和4年4月1日現在)

区分	総数 [割合]	男	女
年少人口(0歳~14歳)	2,805人 [10.8%]	1,437人	1,368人
生産年齢人口(15歳~64歳)	13,994人 [53.8%]	7,332人	6,662人
老年人口(65歳以上)	9,435人 [35.4%]	4,082人	5,353人

市の自慢

下水道普及率……人口普及率95.5%は県内14市で2位(令和2年度末)
 製造品出荷額等……化学工業は県内で1位(令和元年実績)
 弥栄ダム……堤高120m、有効貯水容量1億600万m³は中国地方で2位
 岩国大竹コンビナート……日本初の総合石油コンビナート
 海面養殖業……養殖魚収穫量(ぶり類・まだい)は県内で1位(平成30年)
 介護保険料基準額……県内23市町で最も低額(第8期(令和3年度~令和5年度))

II 教育行財政

1 大竹市教育施策大綱

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、平成27年4月から、地方公共団体の長は、地域の実情に応じ、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとなりました。

大竹市において大綱の策定は、まちづくりを行う上で最上位に位置付けられる総合計画との調和を図るため、平成28年度から令和2年度までを計画期間とする「第五次大竹市総合計画（後期基本計画）」にあわせて行うこととし、平成28年3月に大綱を策定し、これに沿った取組を進めてきました。

令和2年度において、何十年先も守りたい市民の幸せを具現化した理想のまちの姿を描き、その実現に向けて市民と行政が一体となって進めていく未来志向の新たなまちづくりの計画として「大竹市まちづくり基本構想」及び「第1期大竹市まちづくり基本計画」を策定しました。

まちづくりを行う上で最上位に位置付けられる計画を新たに策定したため、大綱についても「大竹市まちづくり基本構想」との調和を図るため、令和3年度から令和6年度を計画期間とする「第1期大竹市まちづくり基本計画」の策定に合わせ、改定を行いました。基本構想に掲げている分野別取組宣言のうち、「学び楽しむ心豊かなまち」「広く社会で活躍する人を育むまち」「歴史や文化を大切にするまち」「一人ひとりを大切にするまち」「子どもが健やかに育つまち」の5つを大綱の取組宣言とし、第1期基本計画のまちづくりのテーマである「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」を進めるための教育施策を「大竹市教育施策大綱」として改定しました。

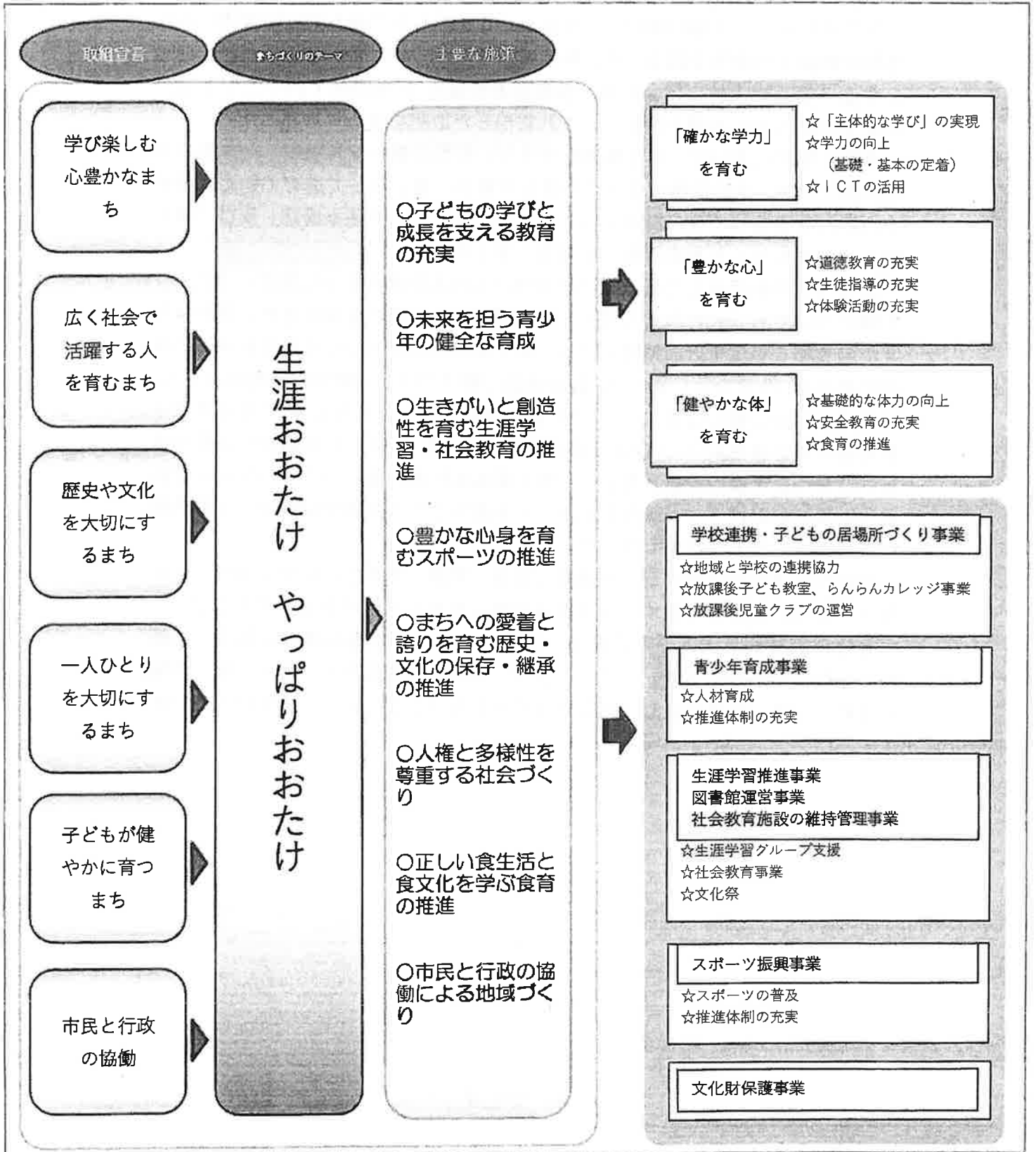
大竹市のまちのイメージの将来像である「笑顔・元気♡かがやく大竹」の実現のために、教育が果たすべき役割は非常に大きなものがあると考えます。

大竹市教育施策大綱の将来像を、大竹市まちづくり基本構想に掲げる「笑顔・元気♡かがやく大竹」とすることで、本市の教育施策を、より一層、力強く進めていき、大竹を愛し、将来の大竹のまちづくりを担う人材を育てていきます。

大竹市教育施策大綱概要図

【将来像】

笑顔・元気♥かがやく大竹



2 教育行政

(1) 教育委員会

令和4年10月1日時点（見込）

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	小西啓二	平成31年4月1日	令和3年4月1日 ） 令和6年3月31日
委員 （教育長 職務代理者）	池田良枝	平成30年12月11日	平成30年12月11日 ） 令和4年12月10日
委員	中田美穂	平成26年4月1日	令和2年9月30日 ） 令和6年9月29日
委員	小出哲義	令和2年3月15日	令和2年3月15日 ） 令和6年3月14日
委員	小城和之	令和2年7月1日	令和3年10月1日 ） 令和7年9月30日

(2) 歴代教育長

令和4年10月1日時点（見込）

氏名	期 間
濱谷 清三	昭和29年 9月 1日 ~ 昭和39年 6月19日
小松 稔	昭和39年 7月13日 ~ 昭和45年10月13日
森岡 敬三	昭和45年10月14日 ~ 昭和49年10月13日
田中 敏美	昭和49年10月14日 ~ 昭和53年10月13日
豊島 岩雄	昭和53年10月28日 ~ 昭和57年10月27日
佐伯 重郎	昭和57年10月28日 ~ 昭和61年10月27日
田中 弘明	昭和61年10月30日 ~ 平成 2年10月29日
塩田 昭男	平成 2年11月 1日 ~ 平成 6年10月29日
北林 克彦	平成 6年11月 1日 ~ 平成10年10月31日
三浦 忠一	平成10年11月16日 ~ 平成14年 7月31日
池本 光博	平成15年 4月 1日 ~ 平成16年 8月20日
長門 俊雄	平成16年 9月15日 ~ 平成18年 6月29日
西尾 裕次	平成18年10月 2日 ~ 平成25年 3月31日
大石 泰	平成25年 4月 2日 ~ 平成31年 3月31日
小西 啓二	平成31年 4月 1日 ~

(3) 歴代教育委員長

氏名	期 間
長門 春一	昭和29年 9月 1日 ~ 昭和30年 8月31日
長谷 正男	昭和30年 9月 5日 ~ 昭和31年 9月30日
田淵 源太郎	昭和31年10月 1日 ~ 昭和32年 9月30日
柴田 佳能	昭和32年10月 1日 ~ 昭和33年 9月30日
大内 領一	昭和33年10月 1日 ~ 昭和34年 9月30日
烏田 義通	昭和34年10月31日 ~ 昭和36年 9月30日
柴田 佳能	昭和36年10月 2日 ~ 昭和37年10月 1日
烏田 義通	昭和37年10月 8日 ~ 昭和39年 9月30日
三上 源一	昭和39年10月 1日 ~ 昭和42年10月15日
豊田 伊久雄	昭和42年10月16日 ~ 平成 2年 1月22日
沖本 和夫	平成 2年 3月14日 ~ 平成 9年 3月27日
和田 世弘	平成 9年 3月28日 ~ 平成17年 9月29日
烏田 克茂	平成17年 9月30日 ~ 平成20年 9月29日
和田 世弘	平成20年 9月30日 ~ 平成24年 9月29日
烏田 克茂	平成24年 9月30日 ~ 平成25年 9月29日
畠中 透	平成25年10月 1日 ~ 平成27年 3月31日

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成27年4月1日から教育委員長を置いていません。

(4) 歴代外部評価委員

令和4年10月1日時点(見込)

年度	氏名	所属
平成20	田中弘明	社会福祉協議会会長、元大竹市教育長
	有田幸夫	元公立小・中学校長
	新矢佳弘	市PTA連合会会長
21	田中弘明	社会福祉協議会会長、元大竹市教育長
	有田幸夫	元公立小・中学校長
	永井隆	市PTA連合会会長
22	田中弘明	社会福祉協議会会長、元大竹市教育長
	有田幸夫	元公立小・中学校長
	小出哲義	市PTA連合会会長
23	田中弘明	社会福祉協議会会長、元大竹市教育長
	有田幸夫	元公立小・中学校長
	森田文男	市PTA連合会会長
24	田中弘明	社会福祉協議会会長、元大竹市教育長
	有田幸夫	元公立小・中学校長
	森田文男	市PTA連合会会長
25	有田幸夫	元公立小・中学校長
	畠中和樹	元公立中学校長、元広島教育事務所生涯学習課長
	竹野英敏	広島工業大学情報学部知的情報システム学科教授
26	有田幸夫	元公立小・中学校長
	畠中和樹	元公立中学校長、元広島教育事務所生涯学習課長
	竹野英敏	広島工業大学情報学部知的情報システム学科教授
27	有田幸夫	元公立小・中学校長
	畠中和樹	元公立中学校長、元広島教育事務所生涯学習課長
	竹野英敏	広島工業大学情報学部知的情報システム学科教授
28	二階堂百合子	元公立小学校長、元公民館長
	畠中和樹	元公立中学校長、元広島教育事務所生涯学習課長
	竹野英敏	広島工業大学情報学部知的情報システム学科教授
29	二階堂百合子	元公立小学校長、元公民館長
	畠中和樹	元公立中学校長、元広島教育事務所生涯学習課長
	竹野英敏	広島工業大学情報学部知的情報システム学科教授
30	二階堂百合子	元公立小学校長、元公民館長
	畠中和樹	元公立中学校長、元広島教育事務所生涯学習課長
	竹野英敏	広島工業大学情報学部知的情報システム学科教授
令和元	二階堂百合子	元公立小学校長、元公民館長
	畠中和樹	元公立中学校長、元広島教育事務所生涯学習課長
	竹野英敏	広島工業大学情報学部知的情報システム学科教授
2	二階堂百合子	元公立小学校長、元公民館長
	畠中和樹	元公立中学校長、元広島教育事務所生涯学習課長
	竹野英敏	広島工業大学情報学部知的情報システム学科教授
3	二階堂百合子	元公立小学校長、元公民館長
	竹野英敏	広島工業大学情報学部知的情報システム学科教授
	池上宏	元公立小学校長、元市民センター所長
4	竹野英敏	広島工業大学情報学部知的情報システム学科教授
	池上宏	元公立小学校長、元市民センター所長
	平野早百合	元公立小学校長

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)が、平成20年4月1日から施行されたことに伴い、毎年度評価委員を選任して外部評価を行っています。

(5) 教育委員会の沿革概要

年月日	概要
昭和29. 9. 1	大竹市教育委員会発足
	大竹市教育委員会事務局機構 総務課——庶務係・財務係 学事課——学事係・指導係 社会教育課——文化係・体育係
31. 5. 1	教育委員会事務局機構改革 庶務課——庶務係・財務係 教務課——学校教育係・社会教育係
34. 1. 17	玖波公民館落成
35. 3. 31	栗谷小学校校舎完成
37. 9. 27	大竹中学校移転改築完成
38. 6. 30	市民プール完成
38. 11. 1	文化会館落成
	文化会館機構 文化会館——庶務係・奉仕係
40. 8. 1	教育委員会事務局機構改革
	総務学事課——庶務係・学校教育係・保健体育係
	社会教育課——社会教育係
40. 9. 11	大竹市体育館完成
40. 10. 1	文化会館機構一部改革
	文化会館——管理係
41. 11.	木野小学校校舎落成
44. 4. 1	教育委員会事務局機構改革
	総務課——庶務係
	学校教育課——学校教育係・学校保健係
	社会教育課——社会教育係・社会体育係
45. 3. 31	栗谷小学校谷尻分校及び広原分校廃校
45. 4. 1	穂仁原小学校飯谷分校設置
45. 6. 1	広原地区スクールバス運行開始
46. 4. 1	谷尻地区スクールバス運行開始
46. 8. 27	阿多田小学校騒音防止対策校舎完成
48. 3. 28	大竹小学校騒音防止対策校舎完成(5ヵ年計画)

年 月 日	概 要
昭和48. 4. 1	教育委員会事務局機構改革 総務学事課——庶務係・学校保健係 学校教育課——学校教育係 社会教育課——社会教育係・社会体育係・社会体育施設係
49. 9. 12	玖波公民館完成
51. 3. 25	小方小学校騒音防止対策校舎完成
52. 3. 31	小方中学校騒音防止対策校舎完成
53. 3. 31	栗谷中学校校舎完成
	玖波小学校騒音防止対策校舎完成
53. 5. 1	教育委員会事務局機構一部改革 社会教育課に青少年教育係を設ける
54. 10. 1	教育委員会事務局機構改革 総 務 課——担当制 学校教育課——学校教育係・保健体育係 社会教育課——社会教育係・青少年教育係・社会体育係
55. 4. 1	市役所移転改築に伴い教育委員会事務局移転
	総合体育館落成
56. 3. 26	栗谷小学校谷和分校廃校
56. 4. 6	谷和地区スクールバス運行開始
56. 4. 15	栄公民館落成
56. 5. 11	総合市民会館オープン
57. 3. 25	玖波中学校新築完成移転
57. 3. 31	穂仁原小学校完成
57. 4. 23	小方公民館・勤労者体育センター落成
58. 3. 31	栗谷小学校移転新築完成
60. 4. 1	穂仁原小学校飯谷分校廃校
	飯谷川手地区スクールバス運行開始
	教育委員会事務局機構改革 総 務 課——庶務係・青少年対策係 学校教育課——担当制 社会教育課——社会教育係・社会体育係
	総合市民会館の管理を嘱託制度に改革
61. 3. 27	松ヶ原小学校校舎及び体育館移転新築完成
62. 3. 27	小方中学校屋内運動場改築完成
62. 4. 1	社会教育課に図書館準備室設置

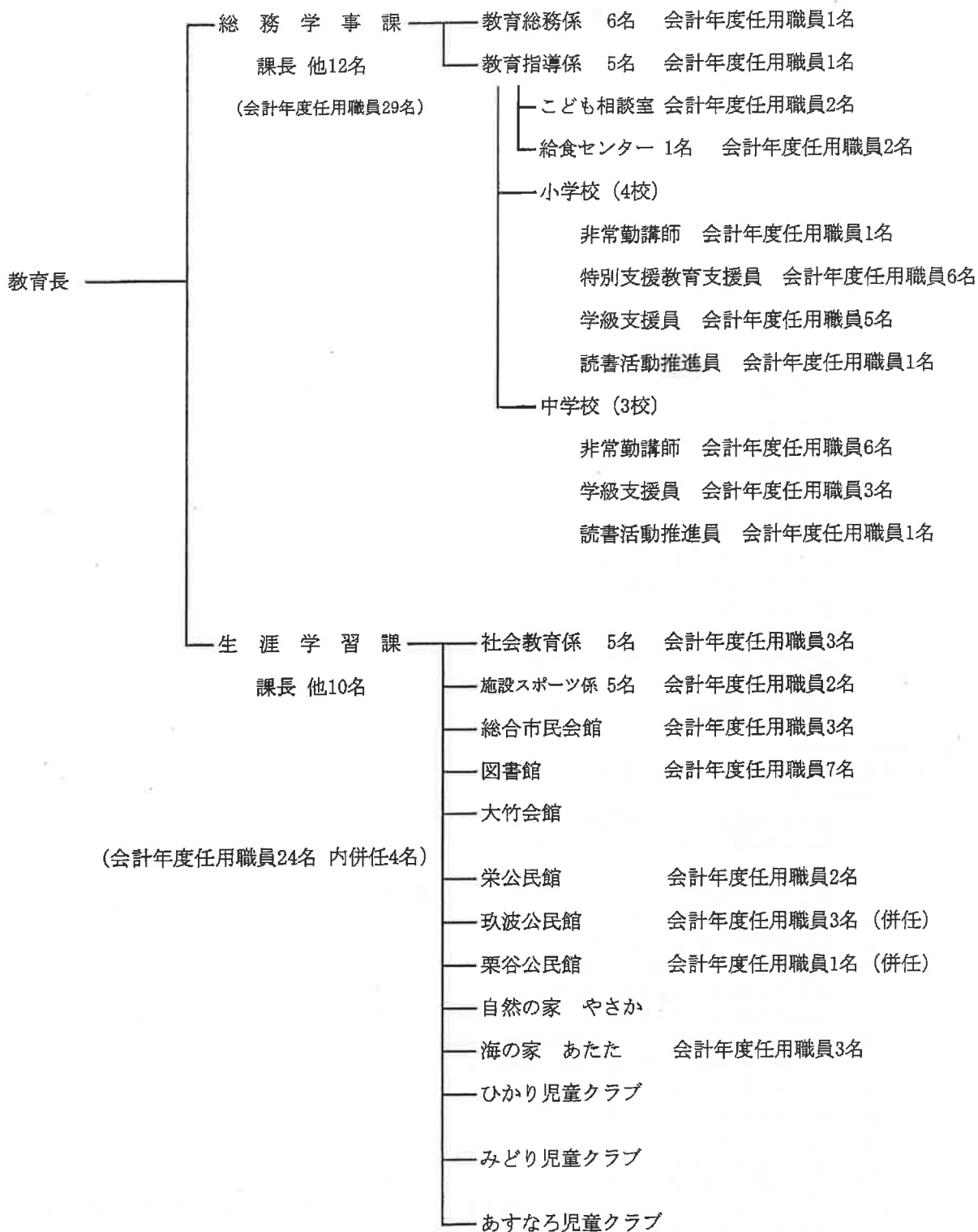
年 月 日	概 要
昭和63. 3. 10	大竹市自然の家「やさか」完成
平成 元. 4. 1	大竹市立図書館オープン
2. 3. 26	玖波小学校校舎大規模改造完成
2. 4. 1	大竹会館講堂（アゼリアホール）オープン
	教育委員会事務局機構改革 総務課——庶務係 学校教育課——学事指導係・健康教育係 生涯学習課——社会教育係・青少年教育係
	大竹市文化振興事業団発足
2. 7. 25~7. 30	第1回青少年海外派遣（中学生・大韓民国）
2. 9. 28	阿多田小学校屋内運動場完成
3. 5. 20	木野小学校屋内運動場改築完成
3. 5. 31	大竹中学校屋内運動場改築完成
3. 7. 30~8. 3	第2回青少年海外派遣（高校生・中華人民共和国）
4. 2. 24	小方中学校校舎大規模改造完成
4. 3. 24	玖波中学校柔剣道場完成
4. 4. 1	小方中学校パソコン教室設置
	大竹中学校パソコン教室設置
4. 7. 27~8. 1	第3回青少年海外派遣（中学生・大韓民国）
4. 8. 4~8. 9	中学生交歓交流開始（沖縄県豊見城村と大竹市）
5. 3. 31	小方小学校給食食器洗浄システム導入
5. 4. 1	玖波中学校パソコン教室設置
6. 3. 15	栗谷中学校パソコン教室設置
	栗谷中学校屋内運動場等改築完成
6. 8. 4~8. 10	第4回青少年海外派遣（中学生・ハワイ州ヒロ市外）
7. 3. 15	大竹小学校屋内運動場改築完成
7. 9. 1	大竹市手すき和紙作業所（手すき和紙の里）オープン
8. 7. 8	大竹市海の家あたたオープン
8. 7. 26~7. 31	第5回青少年海外派遣（中学生・シンガポール外）
9. 3. 25	大竹市生涯学習都市宣言
9. 4. 1	栗谷・松ヶ原・木野・穂仁原・阿多田小学校パソコン教室設置
10. 4. 1	大竹小・小方小・玖波小学校パソコン教室設置
11. 8. 30	阿多田小学校防音改良工事
11. 10. 17	第15回国民文化祭ひろしま2000プレ国民文化祭 ・第9回県民文化祭文芸祭（川柳大会）

年月日	概要
平成11.11.7	第15回国民文化祭ひろしま2000プレ国民文化祭 ・ジャズダンスフェスティバル
12.11.4	第15回国民文化祭ひろしま2000 文芸祭 川柳大会
12.11.5	// ジャズダンスフェスティバル
13.2.12	Jr.サイエンスフェスタ2001おおたけ
13.4.1	教育委員会事務局機構改革 総務学事課——教育総務係・学校教育係 生涯学習課——社会教育係・青少年教育係
13.5~14.8	IT学習講習実施
14.6~	大竹市民スポーツ広場オープン
15.4.1	教育委員会事務局機構改革 総務学事課——教育総務係・学校教育係・こども相談室 生涯学習課——社会教育係・スポーツ振興係・施設管理係
15.6.21	大竹中学校校舎改築着工
16.4.1	教育委員会事務局機構改革 生涯学習課——社会教育係・施設スポーツ係・青少年支援係
16.7.12	大竹中学校校舎第1期分完成・引渡
17.2.28	大竹中学校校舎改築完成
17.4.1	教育委員会事務局機構改革 生涯学習課——社会教育係・施設スポーツ係 大竹市立小中学校事務センター発足
17.9.1	市内小学校パソコン教室整備
17.11.22	「おおたけ少人数教育特区」認定
18.4.1	学校選択制導入 少人数学級推進事業導入
18.8.2	大竹中学校校舎(社)文教施設協会「うるおいのある教育施設」部門入賞
18.8.21~8.27	キャリア教育実践プロジェクト開始 大竹市キャリア・スタート・ウィーク実施
19.4.1	教育委員会事務局機構改革 総務学事課——教育総務係・教育指導係
20.3.31	松ヶ原小学校閉校、松ヶ原地区スクールバス運行開始(20.4.1~)
20.8.28	玖波小・中学校空調機設置(全普通教室及び特別教室の一部)
21.3.11	市内中学校パソコン教室機器更新
21.4.1	教育委員会事務局機構改革 生涯学習課——社会教育係・施設スポーツ係・青少年育成係
21.7.18	大竹小学校校舎改築工事着工
22.3.23	大竹小学校校舎第1期分完成・引渡

年月日	概要
平成23. 3. 24	ひかり児童クラブ完成
23. 3. 31	大竹小学校校舎改築完成
23. 3. 31	木野小学校閉校、木野地区スクールバス運行開始 (23. 4. 1～)
23. 7. 22	学校図書システム導入
23. 9. 30	小方小学校・小方中学校移転改築工事着工
24. 3. 29	小方小学校・小方中学校プール完成
24. 4. 1	栗谷中学校休校
24. 9. 1	市内小学校パソコン教室機器更新
25. 2. 28	給食センター完成
25. 3. 29	小方小学校・小方中学校校舎移転改築完成 みどり児童クラブ完成
25. 3. 31	穂仁原小学校、阿多田小学校閉校
25. 5. 31	大竹市文化振興事業団解散
26. 9. 30	栗谷中学校閉校
27. 3. 4	玖波公民館が第67回優良公民館表彰最優秀館に選ばれる
27. 9. 1	玖波小学校校舎改築のため、玖波小学校・あすなる児童クラブが 玖波中学校に移転
27. 9. 30	玖波小学校校舎・あすなる児童クラブ改築工事着工
28. 9. 1	市内中学校パソコン教室機器更新
28. 9. 30	小方公民館閉館
29. 2. 28	玖波小学校校舎・あすなる児童クラブ改築完成
31. 4. 1	栗谷小学校休校
31. 4. 21	手すき和紙の里体験学習棟オープン
令和 2. 4. 1	教育委員会事務局機構改革 生涯学習課——社会教育係・施設スポーツ係
3. 2. 15	大竹会館「アゼリアおおたけ」オープン
3. 3. 31	勤労青少年ホームを廃止
3. 4. 1	放課後児童クラブ運営業務の一部を民間委託開始

教育委員会機構（令和4年5月1日現在）

職員数 78名（教育長1名、市職員24名、会計年度任用職員53名）



教育委員会事務局事務分掌（令和4年5月1日現在）

総務学事課

〒739-0692 大竹市小方一丁目11番1号
FAX:0827-57-7124
E-mail: sougaku@city.otake.hiroshima.jp

教育総務係

TEL:0827-59-2184

- (1) 公文書の收受、発送及び整理に関する事。
- (2) 教育委員会の会議に関する事。
- (3) 教育行政に関する重要施策の企画及び総合調整に関する事。
- (4) 教育行政施策の推進及び広報に関する事。
- (5) 条例、規則、規程等の審査及び公告式に関する事。
- (6) 公印に関する事。
- (7) 儀式及び表彰に関する事。
- (8) 陳情等の受理及び教育行政に関する相談に関する事。
- (9) 秘書、交際及び渉外に関する事。
- (10) 事務局職員の人事及び給与に関する事。
- (11) 調査統計に関する事。
- (12) 教育委員会の予算及び決算並びに経理に関する事。
- (13) 学校予算の配当に関する事。
- (14) 学校備品等の整理に関する事。
- (15) 学校施設の新築、増築及び改築計画の策定並びに実施に関する事。
- (16) 学校施設等の教育財産の取得及び処分を市長に申し出ること並びに教育財産の管理に関する事。
- (17) 学校施設の業務委託に関する事。
- (18) 学校施設台帳の整理に関する事。
- (19) 学校施設の目的外使用に関する事。
- (20) 学校用地等の借り上げに関する事。
- (21) 学校施設整備に係る国又は県に対する補助金等の交付申請及び精算報告に関する事。
- (22) 学校教育情報化の総括に関する事。
- (23) 教員住宅に関する事。
- (24) こども相談室の維持管理に関する事。
- (25) 通学路及び通学用車両の運行に関する事。
- (26) 奨学金に関する事。
- (27) 事務局及び課の庶務に関する事。

教育指導係

TEL:0827-59-2185

- (1) 県費教職員及び市費教職員の人事及び給与に関する事。
- (2) 学校の組織及び編成に関する事。
- (3) 通学区域に関する事。
- (4) 児童及び生徒の就学、入学、転退学及び卒業に関する事。
- (5) 就学援助及び就学奨励に関する事。
- (6) 教科用図書等の給与に関する事。
- (7) 教科書の採択その他教材に関する事。
- (8) 学習用ICT機器の運用等に関する事。
- (9) 教職員団体及び学校関係諸団体に関する事。
- (10) 教育課程、学習指導その他学校教育の指導に関する事。
- (11) 児童及び生徒の生活指導、進路指導及び教育相談に関する事。
- (12) 教職員の研修に関する事。
- (13) 学校の人権教育に関する事。
- (14) 私立学校に関する事。
- (15) 教育研究会に関する事。
- (16) 英語指導助手に関する事。
- (17) 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）における施設型給付を受けない幼稚園に関する次に掲げる事務
 - ア 子ども・子育て支援法第2章第4節に規定する子育てのための施設等利用給付に関する事。
 - イ 子ども・子育て支援法第59条第3号ロに規定する食事の提供に要する費用の助成に関する事。
- (18) 特別支援教育に関する事。
- (19) 学校の保健計画及び指導に関する事。

- (20) 教職員、児童及び生徒の保健衛生に関すること。
- (21) 学校医等に関すること。
- (22) 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。
- (23) 学校環境衛生に関すること。
- (24) 交通安全及び学校安全に関すること。
- (25) 学校給食に関すること。
- (26) こども相談室の相談業務及び教育相談カウンセリングに関すること。
- (27) 阿多田地区高校生等修学支援に関すること。
- (28) その他学校教育に関すること。

生涯学習課

〒739-0605 大竹市立戸一丁目6番1号
E-mail: seigaku@city.otake.hiroshima.jp

社会教育係

TEL:0827-53-5800・0827-28-5680 / FAX:0827-53-5801

- (1) 生涯学習に関すること。
- (2) 家庭、乳幼児及び青少年教育に関すること。
- (3) 人権教育に関すること。
- (4) 社会教育委員等に関すること。
- (5) 文化財保護及び文化財審議会に関すること。
- (6) 講座、講演会及び展示会に関すること。
- (7) 芸術及び文化の奨励に関すること。
- (8) 総合市民会館事業（成人、女性、高齢者及び視聴覚教育）に関すること。
- (9) 大竹会館事業に関すること。
- (10) 公民館事業に関すること。
- (11) 図書館事業に関すること。
- (12) 社会教育関係団体等の指導及び育成に関すること。
- (13) 21世紀を担う人材育成に関すること。
- (14) 放課後児童クラブに関すること。
- (15) 青少年問題協議会に関すること。
- (16) 青少年育成センターに関すること。
- (17) その他社会教育に関すること。
- (18) 課の庶務に関すること。

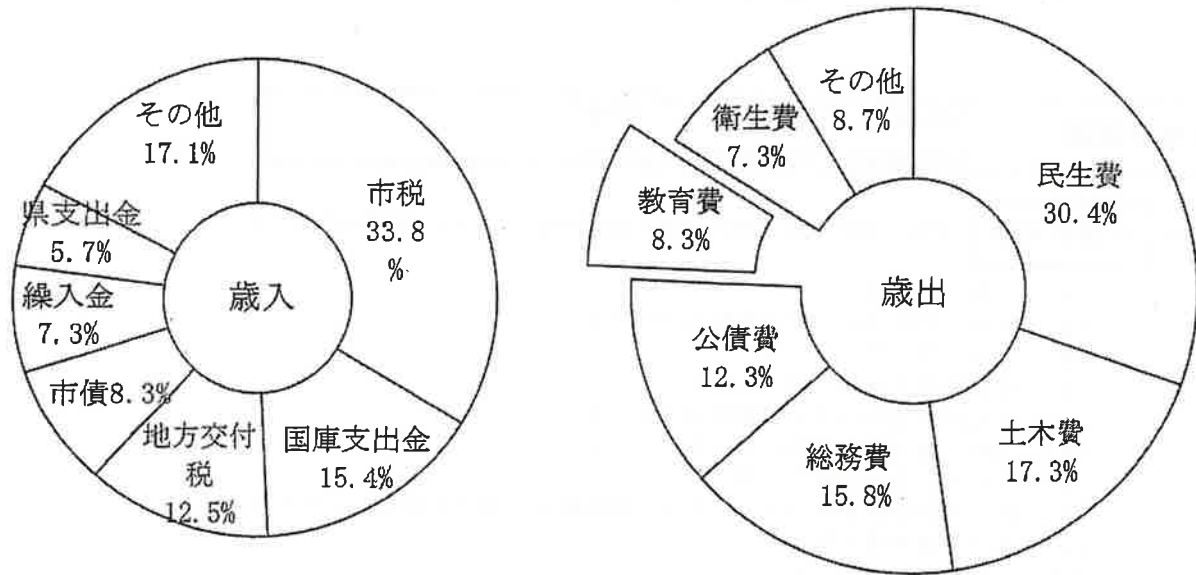
施設スポーツ係

TEL:0827-53-6677 / FAX:0827-54-2121

- (1) 総合市民会館の維持管理に関すること。
- (2) 大竹会館の維持管理に関すること。
- (3) 公民館の維持管理に関すること。
- (4) 図書館の維持管理に関すること。
- (5) 大竹市海の家あたたに関すること。
- (6) 大竹市自然の家やさかに関すること。
- (7) その他社会教育施設等の維持管理に関すること。
- (8) 社会教育施設等の整備計画に関すること。
- (9) 社会教育施設等の教育財産の取得及び処分を市長に申し出ること並びに社会教育財産の管理に関すること。
- (10) スポーツの振興に関すること。
- (11) スポーツ講座等に関すること。
- (12) スポーツ関係団体の指導及び育成に関すること。
- (13) スポーツ推進委員等に関すること。
- (14) 市民スポーツ広場に関すること。
- (15) さかえ公園の運動施設の使用許可に関すること。
- (16) 公立学校体育施設の開放事業に関すること。
- (17) その他スポーツに関すること。

3 教育財政

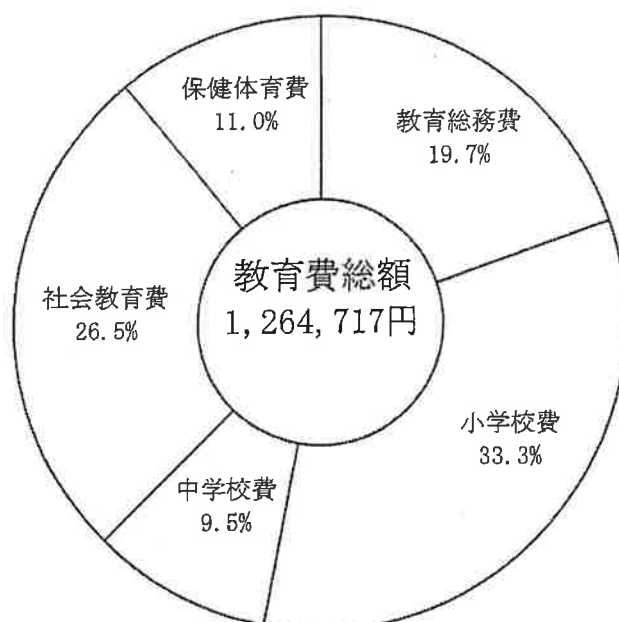
(1) 令和4年度一般会計当初予算概要



歳入	予算額 (千円)	構成比
1 市税	5,132,035	33.8%
2 地方譲与税	76,881	0.5%
3 利子割交付金	3,853	0.0%
4 配当割交付金	15,192	0.1%
5 株式等譲渡所得割交付金	20,496	0.1%
6 法人事業税交付金	60,716	0.4%
7 地方消費税交付金	611,757	4.0%
8 環境性能割交付金	11,485	0.1%
9 地方特例交付金	33,882	0.2%
10 地方交付税	1,896,224	12.5%
11 交通安全対策特別交付金	3,131	0.0%
12 分担金及び負担金	139,495	0.9%
13 使用料及び手数料	292,361	1.9%
14 国庫支出金	2,333,567	15.4%
15 県支出金	857,848	5.7%
16 財産収入	103,270	0.7%
17 寄附金	605,004	4.0%
18 繰入金	1,105,475	7.3%
19 繰越金	1	0.0%
20 諸収入	619,059	4.1%
21 市債	1,255,100	8.3%
合計	15,176,832	100.0%

歳出	予算額 (千円)	構成比
1 議会費	184,552	1.2%
2 総務費	2,393,098	15.8%
3 民生費	4,606,784	30.4%
4 衛生費	1,110,076	7.3%
5 労働費	120,080	0.8%
6 農林水産業費	245,713	1.6%
7 商工費	234,172	1.5%
8 土木費	2,623,845	17.3%
9 消防費	495,027	3.3%
10 教育費	1,264,717	8.3%
11 災害復旧費	17,004	0.1%
12 公債費	1,861,764	12.3%
13 予備費	20,000	0.1%
合計	15,176,832	100.0%

(2) 令和4年度当初予算教育費概要



歳出	予算額(千円)	構成比
1 教育総務費	248,992	19.7%
①教育委員会費	15,671	
②事務局費	105,164	
③教育振興費	119,429	
④教員住宅管理費	304	
⑤こども相談室費	8,066	
⑥学校事務センター費	358	
2 小学校費	421,857	33.3%
①学校管理費	364,859	
②教育振興費	56,998	
3 中学校費	119,687	9.5%
①学校管理費	76,563	
②教育振興費	43,124	
4 社会教育費	334,632	26.5%
①社会教育総務費	118,205	
②文化財保護費	4,698	
③青少年教育費	71,024	
④総合市民会館費	44,807	
⑤大竹会館費	29,578	
⑥地区公民館費	18,003	
⑦図書館費	38,437	
⑧自然の家管理費	4,133	
⑨海の家管理費	5,747	
5 保健体育費	139,549	11.0%
①保健体育総務費	27,038	
③体育振興費	18,331	
④学校給食費	94,180	
教育費合計	1,264,717	100.0%

(3) 令和4年度教育関係主要事業 (「当初予算の概要」より抜粋)

事業名	内容
奨学金貸付事業 10,553千円	経済的な理由により修学の機会がなくなることをないよう、学資の貸付を行います。 平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を導入しています。
こども相談室運営事業 8,066千円	家庭等で問題を抱えながら生活をしている子ども・保護者等に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い社会的自立への基礎を培います。
小・中学校管理運営事業 (大竹小学校プール建設事業) 108,170千円 10,260千円	老朽化している大竹小学校と大竹中学校のプール施設を解体し、大竹小学校に児童と生徒が共同で使用できる新たなプール施設を整備します。 令和4年度は、両校の現プールの解体工事を行い、令和4年度から令和5年度にかけて、新たなプール施設の建設工事を行います。
小・中学校教育振興事業 (ICT支援員配置事業) 10,000千円	児童生徒の情報活用能力を高め、多様な問題を解決できる能力の育成を目指すため、1人1台端末を授業等で活用しています。そのために必要となる教員のICT機器活用力の向上、機器の不具合への対応、情報セキュリティ対策の強化等のため、専門的な知識を持つICT支援員を配置します。
小・中学校教育振興支援事業 (オンライン学習通信費援助事業) 2,397千円	学習用端末を持ち帰り、家庭においても活用するために、通信環境未整備の世帯にモバイルWi-Fiルーターの貸出を行う(契約及び通信料は保護者負担)とともに、就学援助世帯等については通信費の一部を援助します。中学生とあわせて、令和4年度は新たに小学5・6年生も持ち帰り学習を開始します。
学習環境サポート・読書活動推進事業 12,823千円 7,042千円	通常の学級に在籍する発達障害などのある児童・生徒へのサポートのため「学級支援員」を配置し、個に応じたきめ細やかな支援を行います。 学校図書館に読書や学習活動を支援する「読書活動推進員」を配置し、幅広い視野を持った心豊かな児童・生徒を育成します。
中・中学校教育振興事業(英語力向上事業) 838千円	日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を、市内の中学校に通う中学3年生を対象に全額助成(年1回)します。中学卒業までに取得する目標の級を定めることで、中学生全体の英語力の向上を目指します。
学校連携・子供の居場所づくり事業 (放課後児童クラブ運営事業) 62,632千円	放課後や長期休暇中などに、保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対して、「放課後児童クラブ」において適切な「遊びの場」や「生活の場」を提供することで、児童の健全な育成と保護者の仕事と子育ての両立を支援します。
学校連携・子供の居場所づくり事業 (放課後子ども教室事業) 3,000千円	放課後、週末及び長期休暇中における子どもたちの有意義な活動拠点(居場所)を確保するため、地域学校協働本部が核となって地域や各種団体等と連携し、学校や公民館等を活用して様々な体験活動や学習機会の場を児童に提供します。
総合市民会館改修事業 1,958千円	総合体育館2階(武道場)屋上部分のトップライト周辺の防水機能劣化に伴い、防水改修等を行います。
文化財保護事業(文化財等普及啓発事業) 500千円	市内の史跡等について、より多くの方に関心を持ってもらうとともに本市の歴史を学ぶ機会を提供するため、令和4年度は、岩国大竹道路建設に伴って出土した「亀井城跡妙見丸」の石垣の説明看板及び西国街道大竹路の案内板を、大竹市歴史研究会と連携して取り組みます。

(4) 教育費当初予算の推移

①歳出予算性質別内訳

(単位：千円、%)

性質別	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
1 人件費	319,090	12.2	290,961	29.9	306,784	24.3
2 物件費	394,688	15.0	470,311	48.4	459,166	36.3
3 維持補修費	34,537	1.3	35,430	3.6	39,097	3.1
4 扶助費	110,286	4.2	107,232	11.0	94,251	7.4
5 補助費等	21,255	0.8	19,544	2.0	20,625	1.6
6 普通建設事業等	1,679,023	63.9	38,597	4.0	138,604	11.0
7 積立金	59,499	2.3	193	0.0	195,822	15.5
8 出資金・貸付金	8,784	0.3	10,368	1.1	10,368	0.8
合計	2,627,162	100.0	972,636	100.0	1,264,717	100.0

②一般会計予算に占める割合

	教育費予算 (千円)	対一般会計比率 (%)	市民1人当たりの 教育費 (円)
平成23年度	2,294,316	15.9	79,254
平成24年度	2,761,044	19.2	96,513
平成25年度	957,882	7.0	33,741
平成26年度	915,179	6.7	32,308
平成27年度	1,870,437	13.1	66,542
平成28年度	1,764,664	12.1	63,359
平成29年度	854,768	6.4	30,952
平成30年度	925,113	6.2	33,855
令和元年度	1,044,064	7.0	38,735
令和2年度	2,627,162	14.8	98,179
令和3年度	972,636	6.3	36,608
令和4年度	1,264,717	8.3	48,209

III 学校教育

令和4年度 大竹市教育委員会学校教育概要図

教育目標：「笑顔・元気」かがやく大竹っ子の育成
めざす子供像：自分の力で人生を生き抜くたくましい子供



豊かな心

道徳教育の充実

- *カリキュラム・マネジメントによる道徳教育の充実
- *深い学びのある「考え、議論する道徳」の授業づくり

生徒指導の充実

- *暴力行為・いじめ・不登校の未然防止に向けた取組の充実
- *不登校児童生徒の社会的自立に向けた個に応じた支援

体験活動の充実

- *学校教育目標や各教科のねらいの達成に資する活動としての効果的な実施
- *めあてと振り返りの充実

確かな学力

「主体的な学び」の実現

- *日頃の授業改善により、学習者起点の能動的で深い学びへ
- *「本質的な問い」による探究的な学習の実践

学力の向上

- *つきたい力（資質・能力）を明確にした授業づくり
- *知識・技能を活用し、考えたことを表現する力の育成

ICTの活用

- *タブレット端末の組織的かつ効果的な活用
- *教員のICT活用スキルの向上

健やかな体

基礎的な体力の向上

- *学校教育活動全体で取り組む体力づくり
- *授業の中での体力の向上に向けた指導の充実

安全教育の充実

- *安全教育（生活安全・交通安全・災害安全）の充実
- *防災教育の効果的な推進

食育の推進

- *食に関する正しい知識及び望ましい食習慣の定着
- *食を選択する力の育成

地域の教育力の活用 家庭・地域・関係機関との連携の強化

児童生徒の安全を最優先した、安全安心な学校づくり

- 施設・設備の安全管理 学校事故の未然防止 感染症等の拡大防止 暴力行為の未然防止
- いじめの未然防止と積極的認知による早期発見・早期対応 教職員の服務規律の徹底

二に安全
一に学力

施策1 小中一貫教育の推進

- ・各中学校区小中一貫教育企画委員会の設置
- ・9年間を見通した教育活動の推進
- ・小中共通の学校教育目標の設定
- ・中学校区ごとの教育研究の充実



施策2 児童生徒一人一人の将来に生きて働く力の定着

★県の事業

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業 | 大竹小・大竹中 |
| 小学校教科担任制推進校 | 大竹小 |
| 生徒指導サポート実践校 | 大竹中 |
| 小学校低学年段階からの学び喜びサポート校事業 | 玖波小 |
| 中学校英語におけるICTを活用した言語活動充実プロジェクト | 玖波中 |
| 特別支援学級支援プロジェクト | 小方中 |
| 市町支援加配 | 小方中・大竹中・大竹小 |
| スクール・サポート・スタッフ配置校 | 小方中・大竹中・小方小・大竹小 |

★市の事業

- 読書活動推進員配置事業
- 特別支援教育支援員・学級支援員配置事業
- ICT支援員配置事業
- こども相談室運営事業
- 学校給食センター及び栄養教諭による食育推進事業
- 英語力向上事業（実用英語技能検定 検定料補助）



2 小・中学校等の現況

小学校一覧表

(令和4年5月1日)

校番	校名 創立年月	児童数 人	学級数	教員数				事務職員数		屋内 運動場 ㎡	運動場 総面積 ㎡	教室数
				校長・教頭・ 主幹教諭・指 導教諭・教 諭・助教諭	養護 教諭	栄養 教諭	県 人	市 人				
1	玖波小学校 明治6年4月	103	8	12	1	—	1	—	—	726	9,690	17
2	小方小学校 明治6年4月	446	18	23	1	—	2	—	—	1,431	23,832	28
3	大竹小学校 明治6年4月	635	22	30	1	1	1	—	—	1,762	8,253	36
4	栗谷小学校 明治11年8月	—	—	—	—	—	—	—	—	499	3,509	7
計	4校	1,184	48	65	3	1	4	—	—	4,418	45,284	88

※栗谷小学校は平成31年4月1日から休校中。

中学校一覧表

(令和4年5月1日)

校番	校名 創立年月	児童数 人	学級数	教員数				事務職員数		屋内 運動場 ㎡	運動場 総面積 ㎡	教室数
				校長・教頭・ 主幹教諭・指 導教諭・教 諭・助教諭	養護 教諭	栄養 教諭	県 人	市 人				
1	玖波中学校 昭和22年4月	52	4	10	1	—	—	—	—	792	8,411	23
2	小方中学校 昭和22年4月	208	9	14	1	1	1	—	—	1,663	23,832	23
3	大竹中学校 昭和22年4月	297	11	20	1	—	1	—	—	1,747	11,808	36
計	3校	557	24	44	3	1	2	—	—	4,202	44,051	82

小・中学校施設の状況

学校名		玖波小学校	小方小学校	大竹小学校	栗谷小学校	玖波中学校	小方中学校	大竹中学校	
校地面積	建物敷地	4,878㎡	18,761㎡	20,297㎡	2,959㎡	13,700㎡	18,761㎡	19,843㎡	
	運動場	9,690㎡	23,832㎡	8,253㎡	3,509㎡	8,411㎡	23,832㎡	11,808㎡	
校舎	実験実習地・その他		342㎡	412㎡	267㎡		342㎡		
		R	3,239㎡	6,862㎡	1,125㎡	3,962㎡	4,152㎡	6,279㎡	
	構造 保有面積	S	12㎡	4㎡	10㎡	10㎡	10㎡	6㎡	S
		W			10㎡	10㎡			10㎡
建築年月	H29.2	H25.3	H23.3	S58.3	S57.3	H25.3	H17.2		
屋内運動場	保有面積	726㎡	1,431㎡	1,762㎡	499㎡	792㎡	1,663㎡	1,747㎡	
	建築年月	S54.3	H25.3	H7.3	S58.3	S57.3	H25.3	H3.5	
その他主要設備		太陽光発電設備	太陽光発電設備 自家発電設備	太陽光発電設備 地中熱利用換気設備			太陽光発電設備 自家発電設備		

参考資料：令和4年度公立学校施設実態調査

※小方小学校、小方中学校は同一敷地内にある施設一体型の小中一貫教育校です。

※小方小学校、小方中学校の屋内運動場保有面積には、屋根付プールを含みます。

※構造 R：鉄筋コンクリート造

S：鉄骨その他造

W：木造

児童・生徒数の推移

区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
小学校	1,597	1,562	1,492	1,433	1,371	1,339	1,344	1,274	1,255	1,248	1,255	1,253	1,207	1,216	1,224	1,211	1,193	1,184
中学校	773	741	750	727	732	660	632	606	618	600	569	580	593	582	559	534	546	557
計	1,211	1,168	1,147	1,119	1,090	1,025	1,011	966	974	952	947	953	916	895	906	905	907	895
男	1,159	1,135	1,095	1,041	1,013	974	965	914	899	896	877	880	884	903	877	840	832	846
計	2,370	2,303	2,242	2,160	2,103	1,999	1,976	1,880	1,873	1,848	1,824	1,833	1,800	1,798	1,783	1,745	1,739	1,741

学校別児童・生徒数の推移

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
玖波小学校	284	263	254	244	230	206	201	191	176	161	154	161	141	124	117	111	110	103
松ヶ原小学校	13	8	6	閉校														
小方小学校	427	450	421	429	406	396	398	370	391	403	419	422	423	432	463	464	449	446
穂仁原小学校	14	10	11	8	7	7	5	5	閉校									
阿多田小学校	16	13	8	8	10	11	13	14	閉校									
大竹小学校	805	783	756	712	688	691	716	685	678	676	675	665	639	657	644	636	634	635
木野小学校	18	17	17	17	16	15	閉校											
栗谷小学校	20	18	19	15	14	13	11	9	10	8	7	5	4	3	休校			
小学校計	1,597	1,562	1,492	1,433	1,371	1,339	1,344	1,274	1,255	1,248	1,255	1,253	1,207	1,216	1,224	1,211	1,193	1,184
玖波中学校	147	144	150	153	154	140	134	117	113	95	88	73	85	77	74	50	49	52
小方中学校	242	212	217	204	221	197	182	187	190	202	176	193	186	195	182	190	201	208
大竹中学校	369	365	368	356	345	314	310	302	315	303	305	314	322	310	303	294	296	297
栗谷中学校	15	20	15	14	12	9	6	休校										
中学校計	773	741	750	727	732	660	632	606	618	600	569	580	593	582	559	534	546	557
合計	2,370	2,303	2,242	2,160	2,103	1,999	1,976	1,880	1,873	1,848	1,824	1,833	1,800	1,798	1,783	1,745	1,739	1,741



くばしょうがっこう
玖波小学校

所在地	〒739-0651 大竹市玖波7丁目1-1		
電話	0827-57-3101		
FAX	0827-57-3102		
校長名	根石 郁子		
児童数	103	学級数	8
E-mail	kubasho@fch.ne.jp		
HP	http://members.fch.ne.jp/kubasho/		



★教育目標

「夢を持ち、自ら夢を実現する児童・生徒の育成」 ～共に生きる～

★研究主題

「『できた』『わかった』と実感し、学びに向かう児童の育成」

～自己決定から始まる学びの深まりをめざして（焦点化・視覚化・共有化）～

★特色

- 1クラス10～22名の小規模校のよさを生かし、全職員で全児童を育てます。
- ユニバーサルデザインの授業実践やICTの活用により、児童の学力向上をめざしています。
- 低中高学年チームでの活動や縦割り班活動を通して、学びの原動力である自己有用感を高めます。



おがたしょうがっこう
小方小学校

所在地	〒739-0628 大竹市小方ケ丘1-1		
電話	0827-57-7158		
FAX	0827-57-7208		
校長名	真鍋 和聡		
児童数	448	学級数	18
E-mail	ogatako@fch.ne.jp		
HP	http://members.fch.ne.jp/ogatako/		



★教育目標

かしこく なかよく たくましく ～元気に 仲良く 学習する 児童生徒の育成～

★研究主題

思考力（表現力）を高めるための協働的な学び合いの研究

～算数科を中心とした論理的思考力を育てるための表現の工夫～

★特色 小中がともに学ぶ施設一体型「小中一貫教育校」の強みを活かした教育活動

- 小・中協働の教育研究
- 小・中の情報連携及び行動連携
- 小・中合同行事（入学式や小方学園祭など）
- 小・中合同ボランティア など



おおたけしょうがっこう
大竹小学校

所在地	〒739-0614 大竹市白石2丁目1-1		
電話	0827-52-3177		
FAX	0827-52-3178		
校長名	兼田 等		
児童数	635	学級数	22
E-mail	otakesho@fch.ne.jp		
HP	http://members.fch.ne.jp/otakesho/		



★教育目標

「みんなで伸びる」～夢に向かって、すすんでチャレンジする竹っ子～

★研究主題

「本質的な問いにせまる課題を主体的に解決しようとする児童の育成」
～リフレクションを活用した生活科、総合的な学習の時間の探究的な学びを通して～

★特色

- 「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」の指定2年目にあたり、探究的な学習を充実させて、児童の学びに向う「主体性」及び「課題発見・解決能力」を高めます。
- 誰かの役に立っている自覚をもてるような、人とのかかわりや小さな挑戦を積み重ねて自己有用感の育成を図ります。
- 地域学習の充実を図り（ゲストティーチャー・単元構想）、「大竹を愛し、大竹を誇りに思う」児童を育成し、保護者・地域から信頼される学校を目指します。



くりたにしょうがっこう
栗谷小学校

所在地	〒739-0645 大竹市栗谷町小栗林510		
電話	0827-59-2184(総務学事課)		
FAX	0827-57-7124(総務学事課)		
E-mail	sougaku@city.otake.hiroshima.jp		
HP	http://members.fch.ne.jp/kurikko/		



平成31年度から休校しています。



くばちゅうがっこう
玖波中学校

所在地	〒739-0651 大竹市玖波4丁目12-1		
電話	0827-57-7241		
FAX	0827-57-3060		
校長名	渡部 智子		
生徒数	52	学級数	4
E-mail	kubachu@fch.ne.jp		
HP	http://members.fch.ne.jp/kubachu/		



★教育目標

「夢を持ち、自ら夢を実現する児童・生徒の育成」
～自他を大切にし、主体的に考え行動できる生徒の育成～

★研究主題

「自らへの自信を持ち、主体的に学びに向かう生徒の育成」
～授業づくり、集団づくり、環境づくりの3つの側面から～

★特色

- ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、生徒の主体性を引き出す授業改善に取り組んでいます。特に「中学校英語におけるICTを活用した言語活動充実プロジェクト」の指定を受け、全教科・全領域においてデジタル機器の効果的な活用をすすめます。
- 「自治の城」の伝統を継承した生徒会活動、小規模校の良さを活かした異学年集団の活用、他校との交流、地域の教育力を活かしたボランティア活動等の体験活動を行います。それらの活動を通し、主体性、思考力、表現力を育成するとともに、自己有用感を醸成します。
- 「玖波を愛し、大切に育てる生徒の育成」に取り組めます。公民館活動への参画や、地域行事でのボランティア活動、玖波小児童と合同での花植え等を通して、地域に愛され地域とともに歩む学校を目指します。



おがたちゅうがっこう
小方中学校

所在地	〒739-0628 大竹市小方ヶ丘1-1		
電話	0827-57-7211		
FAX	0827-57-7208		
校長名	真鍋 和聡		
生徒数	207	学級数	9
E-mail	ogatajh@fch.ne.jp		
HP	http://members.fch.ne.jp/ogatajh/		



★学校教育目標

かしこく なかよく たくましく ～元気に 仲良く 学習する 児童生徒の育成～

★研究主題

「思考力（表現力）を高めるための協働的な学び合いの研究」
～思考力育成のための学習集団づくり～

★特色 小中がともに学ぶ「小中一貫教育校」の特色を活かした教育活動

- 小・中協働の教育研究
- 小・中の情報連携及び行動連携
- 小・中合同行事（入学式や小方学園祭など）
- 小・中合同ボランティア など



おおたけちゅうがっこう
大竹中学校

所在地	〒739-0614 大竹市白石1丁目8-1		
電話	0827-52-5177		
FAX	0827-52-5178		
校長名	十亀 琢磨		
生徒数	297	学級数	11
E-mail	otakejhs@fch.ne.jp		
HP	http://members.fch.ne.jp/otakejhs/		



★教育目標

みんなで伸びる ～夢や志を待ち、可能性に挑戦し、主体的に人生を切り拓く生徒の育成～ いのち輝く学校

★研究主題

主体的にかかわりあい、深い学びを実現する授業づくり ～探求的な学習につながるリフレクションの充実～

★特色

○ICT機器の活用、リフレクションの充実等を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に取り組んでいます。

○生徒会活動を軸に、縦割り集団での活動を積極的に取り入れ、生徒の主体性や自治の力を育てる指導の充実を図っています。(例:「やりきり清掃+α」、「一丸あいさつ」、UNITYプロジェクト、体育祭 など)

○思考力・判断力・表現力、主体性を育成するために、大竹小学校と共に研究と実践を進め、小中合同研修会等を実施しています。

○5月23日を「生命尊重の日」と定め、毎年この日には生命尊重をテーマにした学習や講演会を行っています。

大竹中学校生徒会「生命尊重の日」アピール文

- 一つ 私たち大竹中学校生徒は、自分の命の尊さを知る人になろう。
- 一つ 私たち大竹中学校生徒は、他人の命の尊さを忘れない人になろう。
- 一つ 私たち大竹中学校生徒は、命を輝かせる人になろう。

おおたけしりつしょうちゅうがっこうきょうどうじむしつ

大竹市立小中学校共同事務室

所在地	〒739-0628 大竹市小方ヶ丘1-1 (小方小学校・小方中学校内)		
電話	0827-57-0152		
FAX	0827-57-0152		
E-mail	otakejimu@fch.ne.jp		

大竹市立小中学校の管理運営に係る事務及び業務を組織的かつ集中的に処理し、学校管理運営の適正化及び効率化を図っています。

週1回の共同事務実施日を設け、各学校における事務の情報の共有化に努めています。

こどもそうだんしつ

こども相談室

所在地	〒739-0605 大竹市立戸1丁目8-5
電話	0827-54-0021
FAX	0827-54-0039
E-mail	otake-soudanshitsu@fch.ne.jp
受付時間	月曜日～金曜日（祝日除く） 午前8時30分～午後3時



☆スタッフ

相談員： 主に保護者等からの相談を担当します。

指導員： 主に通室児童・生徒への支援を担当します。

☆相談について

家庭や学校などで問題や悩みを抱えながら生活している子どもや保護者に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を電話及び面接にて行っています。

また、不登校等にかかわるさまざまな状況が改善されるよう支援及び指導を行っています。

☆不登校児童・生徒への支援について

- ・まず安心できる場所の提供からはじめ、一人一人に合わせた、今必要と思われる支援を行います。
- ・決められたスケジュールがないことが特徴です。
- ・漫画（在庫約800冊）を読んだり、DVDを観たり、一人で過ごす時間も大切にします。
- ・スタッフや同じ通室生と遊ぶこともできます。
- ・カウンセリングを受けたり、勉強したりすることもできます。
- ・通室時間は月曜日～金曜日の午前9時から午後3時までです。

※令和3年度 こども相談室「相談受理状況」は次ページのとおり。

令和3年度 相談受理状況

大竹市こども相談室
令和3年4月～令和4年3月

問題別	対象者別		学識別												相談方法				合計		相談方法						
	幼児		小学生		中学生		高校生		各校生		有職		無職		保護者自身		匿名		電話	メール		面接	訪問	男	女	不詳	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女
1																			1				1	0	0	1	1
2						3		1						1					2		4		4	2	0	6	6
3																								0	0	0	0
4			9	5	9	6	9		5										20		28		32	11	5	48	48
5										2				14					2	2	12		16	0	0	16	16
6																					1		0	1	0	1	1
7																							0	0	0	0	0
8								1							2	8			5		8		2	11	0	13	13
9																							0	0	0	0	0
10															1								0	1	0	1	1
11	1	5	3	1	3	1	2	2	5	5	1	1	1	1	1	1			12		9		14	6	1	21	21
12									15	8	97	29	8	493	8	493	2	2	594	7	57		117	539	2	658	658
13									6	17	17	4	6	8	19	8	8	33		49		31	51	0	82	82	
内訳			1	3	3	2	2	5		8	114	41	14	11	9	518							141	588	0	729	
			12	5	14	4	4	2	25	1	2	5	5	1	1	7							62	18	7	87	
		1		5			9					9			1	1							9	16	1	26	
						1									1								3	0	0	3	
	0	1	14	13	18	6	14	7	25	9	116	50	20	16	10	520	8	8	670	9	168	0	217	622	8	847	①
1																							0	0	0	56	
2																							0	0	0	36	
3																							0	0	0	3	
合計																										95	②

通室児童・生徒への対応	学識別			処理別					相談方法				合計	
	小学生		中学生	学習	会話	スポーツ・遊戯療法	箱庭	その他	電話	メール	訪問	男	女	計③
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
99	3	11	16	45	27	57					129	110	19	129
合計														1,071
														①+②+③

★ 件数は全てのべ件数

おおたけしきゅうしょくセンター
大竹市給食センター

所在地	〒739-0628 大竹市小方ヶ丘1-19
電話	0827-57-7626
FAX	0827-57-7627
E-mail	kyushoku-c@city.otake.hiroshima.jp
建物構造	鉄骨造平屋建て
床面積	1,325.23㎡
調理能力	2,200食/日
開設	平成25年4月



給食センターキャッチフレーズ ☆大竹市のめざす学校給食のあり方

おいしく食べて

おおきく育て

たくましいことと

けんこうな大竹っこ

(1) 大竹市の児童生徒の健全な成長を促すための、安全でおいしい給食

(2) 児童生徒の望ましい食習慣を育てるための「食育の教材」となる給食

(3) 地域の食文化を大切にし、郷土料理、地場産物を活用した給食

(4) 人（児童生徒・教職員・保護者・地域・給食センター職員・生産者・仕入れ業者・行政等）のつながりを大切にした、心の通う給食

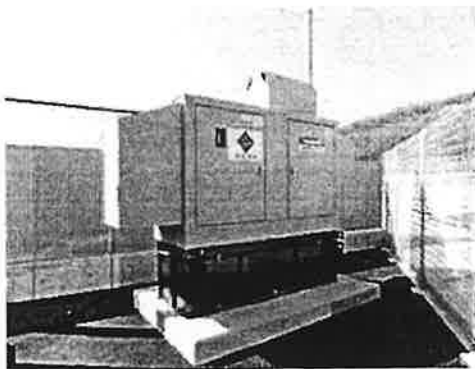
☆実施状況 (令和4年5月1日現在)

	学校数	児童生徒数	1食あたり給食費
小学校	3校	1,184人	270円
中学校	3校	557人	325円

食育キャラクター



☆防災拠点としての設備



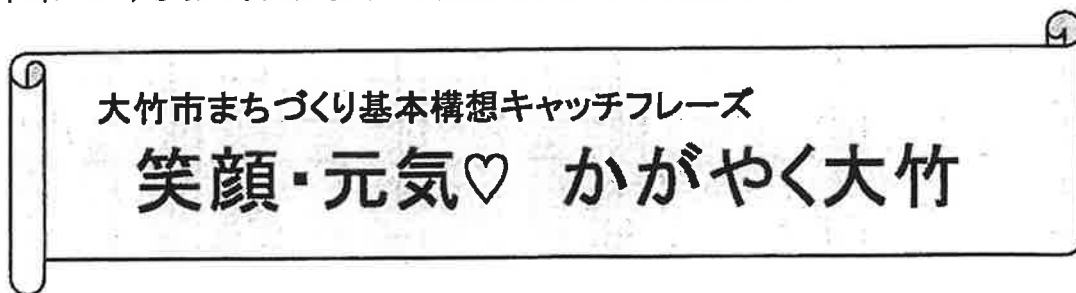
自家発電設備



貯水槽・備蓄倉庫

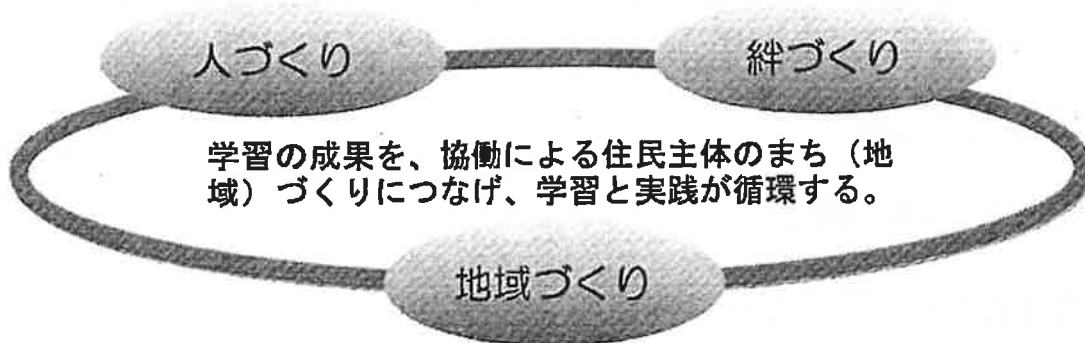
IV 生涯學習

1. 令和4年度大竹市教育委員会生涯学習概要図



〈生涯学習推進の方向性〉

- 個人の自立（人づくり）に向けた、生涯にわたる学習機会の充実
- 住民が学び合う相互学習を通じて、人と人との絆を形成し（絆づくり）、協働による地域づくりの実践につなげる意識の醸成
- 住民による主体的な地域課題の解決や地域の活性化など（地域づくり）に向けての継続的な取組



〈施策の柱〉

I 子どもの学びと成長を支える教育の充実

(1) 学校連携・子どもの居場所づくり事業

- ①地域と学校の連携協力 ②放課後子ども教室、らんらんカレッジ事業
- ③放課後児童クラブの運営

II 未来を担う青少年の健全な育成

(1) 青少年育成事業

- ①人材育成（ジュニアリーダー育成事業、中学生交歓交流事業） ②推進体制の充実

III 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進

(1) 生涯学習推進事業

- ①生涯学習グループ支援 ②社会教育事業 ③文化祭
- (2) 図書館運営事業
- (3) 社会教育施設の維持管理事業

IV 豊かな心身を育むスポーツの推進

(1) スポーツ振興事業

- ①スポーツの普及 ②推進体制の充実

V まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進

(1) 文化財保護事業

生涯学習

生涯学習都市宣言

平成9年3月25日
決議

わたくしたちは大竹市民憲章の実現をねがい
「ひとり ^{いち}学習 ^{いち}スポーツ ^{いち}趣味 ^{いち}ボランティア」を
スローガンとして生涯にわたり
心豊かに楽しく
自分らしく学び続け
ふれあいを大切にしながら
みんなとともに生き
たがいに認めあう
生きがいと創造性豊かなまちづくりをめざして
ここに「生涯学習都市おおたけ」を宣言する
以上決議する。

2. 令和3年度生涯学習事業（令和4年3月31日現在）

（1）社会教育・青少年育成

○青少年教育

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
らんらんカレッジ2021	年間33教室	公民館ほか	1,348人
大竹市⇄豊見城市（沖縄県） 中学生交歓交流事業	大竹市で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
放課後子ども教室 （文部科学省委託事業）	7月～3月開講 11教室述べ197回	総合体育館ほか	延べ2,070名
おはなし会	4月～（第3土曜日） 7回開催	ギャラリー1 ほか	延べ80名
らんらんサポーター （らんらんサポートセンター）	年間活動		登録者数：34名
インターンシップ・ キャリア教育受入事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
児童生徒書初め大会 （小学生～高校生）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		

○人権教育

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
新成人に向けた人権啓発	令和3年8月開催（令和2年延期分）及び令和3年1月開催の成人式で実施する予定であったが、いずれも天候不順や新型コロナウイルス感染症拡大防止により、中止または延期となったことで未実施。		
ショートフィルム上映	総合市民会館まつり内で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、まつり自体を中止。		

○成人・高齢者教育

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
成人のつどい	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和4年度に延期		
公民館講座	年48講座	各公民館ほか	延べ2,072名

○芸術・文化の振興

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
大竹市文化祭（14部門）	<ul style="list-style-type: none"> ・展示部門は総合市民会館にて開催 ・芸能の祭典はアゼリアホールにて開催 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため茶道、華道は中止。川柳は誌上大会。 ・11月3日に文化祭功労者表彰とジュニア川柳大会の入賞者の表彰を行った。 		出品・出演者 621名
			来場者 813名 (表彰式72名)

○放課後児童クラブ

(延べ人数)

事業名	実施概要	実施場所	登録者数
放課後児童クラブ運営 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・月～金曜日 下校時～18時30分 	大竹小学校	165名
		ひかり児童クラブ A.B.C	
	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日及び長期休暇 8時～18時 	小方小学校	140名
		みどり児童クラブ A.B.C	
		玖波小学校 あすなろ児童クラブ	37名

○家庭教育・子育て支援

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
親子で手形足型アート	1回	栄公民館	16名
親の力を学びあう 学習プログラム ファシリテーター養成講座	2日間開催	オンライン 会場5カ所	延べ24名
P e t t a n	1回	栄公民館	12名
ピッコロキッズ体験会	2回	総合市民会館	親子延べ51名
えほんでハートフル	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
おひざにだっこのおはなし会 (0～1歳児向け)	毎月第2金曜日 年6回開催	ギャラリーおおたけ	親子延べ31名
親子で楽しむおはなし会 (1歳児以上)	毎月第2金曜日 年5回開催	ギャラリーおおたけ	親子延べ17名
おはなし会 (未就学児・小学生向け)	年5回開催	ギャラリーおおたけ	親子延べ36名
おはなし会スペシャル (未就学児・小学生向け)	年2回開催	ギャラリーおおたけ	親子延べ44名
市民のつどい	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインにて開催。		
青少年育成講演会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ※作文等コンテストの表彰式は実施。		

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、おはなし会、おひざにだっこのお話し会は5、6、9、1、2月中止。親子で楽しむお話し会は4、5、6、9、1、2月中止。わらべうたであそぼうは通常のお話し会へ変更。

※ 雨天（警報発令）のため、おひざにだっこのお話し会、親子で楽しむお話し会は7月中止。

(2) 文化財の保護

○指定・登録文化財

文化財の区分		指定年月日	文化財の名称	文化財の所在地
国登録有形文化財		H8. 12. 20	吏員退息所、物置、油庫 (阿多田島灯台資料館)	阿多田
県名勝		S 24. 8. 12	弥栄峡	栗谷町大栗林 小方町後飯谷
県天然記念物		S 23. 9. 17	栗谷の蛇喰磐	栗谷町大栗林
市指定重要文化財	史跡	S 58. 11. 4	旧山陽道木野川渡し場跡	木野一丁目
			亀居城跡	小方二丁目
		H4. 10. 27	浅生塚・芦路塚	元町四丁目
		H17. 3. 25	薬師寺の宝篋印塔	元町四丁目
			けごろもの碑	小方一丁目
	無形文化財	S 47. 9. 26	大瀧神社の奴行列と山車の風流	大竹地区
		H15. 5. 29	玖波宿本陣 陣入やっこ	玖波地区
	有形文化財	H9. 3. 27	所家文書	白石一丁目
		H18. 6. 23	森崎家文書	栗谷町大栗林
		H19. 6. 22	和田家文書	広島市中区千田町 三丁目 広島県立 文書館
		H30. 3. 28	称名寺の喚鐘	玖波六丁目
	民俗資料	H30. 3. 28	大歳神社の力量石	玖波五丁目

○普及・啓発事業

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
手描き鯉のぼりづくり教室	1回	総合市民会館	31名
小学生紙すき&工作教室	2回	おおたけ手すき和紙の里	20名
手すき和紙ワークショップ (和綴じノートづくり体験教室)	1回	市立図書館	9名
冊子「長州の役と大竹」の作成	大竹市歴史研究会 へ委託		
歴史説明板等の設置 (亀居城の石材・苦の坂古戦場)	大竹市歴史研究会 へ委託		

(3) スポーツ振興

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
大竹駅伝競走大会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。		
ランランふれあい マラソン大会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
体育の日無料開放	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
健康づくり大会	年間	市内8地区	延べ560名
スイミング教室 (着衣水泳講座を含む)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
卓球の日無料開放	毎月第3金曜日 年12回	総合体育館	延べ103名
ラージボール卓球大会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
ターゲットバードゴルフ大会	12月5日(日)	晴海臨海公園	40名
グラウンドゴルフ大会 (決勝大会を含む)	8月21日から 10月23日まで	市内2地区 晴海臨海公園	大竹・栗谷2地区 162名 決勝大会中止
ライオンズカップサッカー大会 (U15)	10月24日(日)	晴海臨海公園	5チーム 150名
ライオンズカップサッカー大会 (U12)	11月28日(日)	晴海臨海公園	8チーム 160名

(4) その他

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
ジュニアコンサート	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
コーラスフェスティバル	12月19日(日)	アゼリアおおたけ (大竹会館)	延べ440名

3. 社会教育施設

(1) 総合市民会館（総合体育館除く）

○年間利用者数

(延べ人数)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
老人福祉センター	25,707名	8,580名	6,044名
中央公民館	25,670名	9,554名	11,616名
勤労青少年ホーム	10,220名	7,887名	
合 計	61,597名	26,021名	17,660名

○年間使用料収入

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
老人福祉センター	2,982,290円	1,962,150円	1,432,340円
中央公民館			
勤労青少年ホーム			

○中央公民館（2階）

※青少年、家庭教育・子育て支援事業を除く

事 業 名	実施概要	参加人数等
生涯学習グループ	56 グループ	—
大竹手すき和紙・手描き鯉のぼり展示会	4月12日～5月9日 総合市民会館ロビー展示	来館者 5,616 人
手描き鯉のぼり教室	1 回	45 名
手描き鯉のぼり教室作品展示会	4月28日～5月31日 アゼリアおおたけ ロビー展示	来館者 870 人
キャッシュレス推進講座	1 回	4 人
阿多田地区コミュニティスクール（ヨガ体験）	1 回	16 人
若者世代の手打ちそば教室	1 回	14 人
ハイブリッド型 ヨガ教室 ※オンライン配信、対面の両方開催	3 回 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回配信のみ。	延べ 16 人
総合市民会館まつり	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

(2) 玖波公民館

○年間利用者数及び使用料収入

(延べ人数)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	28,435名	12,968名	12,246名
使用料収入	942,730円	668,480円	469,810円

○事業

※青少年、家庭教育・子育て支援事業を除く

事 業 名	実施概要	参加人数等
生涯学習グループ	20 グループ	—
学びのカフェ「オンライン相談会」「寄席」「講演会」	3 回	延べ 96 名
マスク作り講座	2 回	8 名
KARADAカフェ	13 回	延べ 252 名
ロビーDEアート	4 月 1 日～15 日 3 月 7 日～31 日	延べ 412 名
まちかどピアノ	4 回	167 名
オンライン講座・相談会	8 回	98 名
ポリスフェスティバル	11 月 28 日 (日)	235 名
スマホを活用した生活講座	3 回	70 名
パン作り講座～KUBA男パン職人～	4 回	45 名
スパイスカレーを作ろう	2 回	51 名
公民館ダンス一緒に踊ろう (オンライン配信)	12 回	75 名
おがたピア講座	1 回	15 名
公民館まつり	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

(3) 栄公民館

○年間利用者数及び使用料収入

(延べ人数)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	12,245名	10,964名	7,952名
使用料収入	662,850円	607,890円	385,140円

○事業

※青少年、家庭教育・子育て支援事業を除く

事 業 名	実施概要	参加人数等
生涯学習グループ	22 グループ	—
スマホの基礎講座	1 回	14 名
PayPay 入門講座	1 回	9 名
カラダがよろこぶ健康講座	7 回	延べ 195 名
ペーパーバッグ作り	1 回	13 名
旬の地元野菜でスイーツ作り	1 回	9 名
ビーズの手芸講座	2 回	延べ 20 名
プリザーブドフラワーでクリスマスリース作り	1 回	14 名
公民館まつり	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

(4) 大竹会館

○年間利用者数

(延べ人数)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
大竹会館旧館 (～R2.8)	8,382名	902名	
アゼリアホール (～R元.9)	4,813名	0名	
エスポワールおおたけ (～R2.8)	13,702名	620名	
大竹会館 (R3.2/15～)		1,235名	11,048名
アゼリアホール (R3.2/15～)		280名	6,943名
合 計	26,897名	3,037名	17,991名

※アゼリアホールは大竹会館改築工事に伴い令和元年10月から令和3年2月14日まで利用休止。

○年間使用料収入

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
大竹会館旧館 (～R2.8)			
アゼリアホール (～R元.9)	656,540円	84,350円	
エスポワールおおたけ (～R2.8)	932,130円	50,080円	
大竹会館 (R3.2/15～)			
アゼリアホール (R3.2/15～)		164,870円	2,411,380円

○事業

※青少年、家庭教育・子育て支援事業を除く

事 業 名	実施概要	参加人数等
生涯学習グループ	21グループ	—
大竹の名山に登ろう	5回	94名
心と身体の元気アップ講座	4回	29名
オカリナを吹きたい	4回	43名
PayPayでお得に買い物	1回	5名
こども映画館	1回	9名
西国街道大竹路を歩こう	2回	47名
多肉植物の寄せ植え風アレンジメント	1回	7名
秋野菜栽培教室	1回	9名
カラダがよろこぶ健康講座	6回	延べ281名
会館まつり	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

(5) 市立図書館

○個人貸出状況

(延べ人数)

区 分	年度	個 人 の 貸 出 し の 状 況		
		児 童	一 般	計
登録者数	令和 元年度	1,186名	13,019名	14,205名
	令和 2年度	1,135名	13,364名	14,499名
	令和 3年度	1,038名	13,710名	14,748名
延利用者数	令和 元年度	4,065名	28,637名	32,702名
	令和 2年度	3,241名	25,544名	28,785名
	令和 3年度	3,698名	28,092名	31,790名
貸出冊数	令和 元年度	39,113冊	76,532冊	115,645冊
	令和 2年度	34,772冊	72,206冊	106,978冊
	令和 3年度	40,688冊	76,856冊	117,544冊

○相互貸借状況

区 分	借 受	貸 出
令和元年度	269 冊	489 冊
令和2年度	210 冊	487 冊
令和3年度	203 冊	459 冊

○参考奉仕（図書についての相談業務）状況

区 分	口頭	電話	文書	合計
令和元年度	907 件	68 件	1 件	976 件
令和2年度	686 件	113 件	1 件	800 件
令和3年度	572 件	69 件	0 件	641 件

○蔵書数

(単位：冊)

年度	区分	総記	哲学	歴史	社会	自然	工学	産業	芸術	語学	文学	計
令和 元年度	増加 冊数	△156	△176	△291	△560	△145	△137	2	29	△65	1,039	△460
	蔵書 合計数	3,788	3,322	11,454	13,520	9,097	8,325	3,456	10,424	1,749	74,838	139,973
令和 2年度	分類番号 訂正等	0	0	4	△1	2	5	0	8	0	△18	0
	増加 冊数	25	△53	△230	△64	△178	13	△25	92	△47	941	474
	蔵書 合計数	3,813	3,269	11,228	13,455	8,921	8,343	3,431	10,524	1,702	75,761	140,447
令和 3年度	分類番号 訂正等	△1	0	5	1	4	1	0	1	0	△12	1
	増加 冊数	10	△149	△423	△199	△18	△111	23	179	△37	1,007	282
	蔵書 合計数	3,822	3,120	10,810	13,257	8,907	8,233	3,454	10,704	1,665	76,756	140,728

○ホームページアクセス・Web予約件数及びインターネット端末の利用者数（延べ人数）

区分	アクセス件数	Web予約件数	インターネット 端末利用者数
令和元年度	1,067,653件	4,102件	716名
令和2年度	1,287,873件	5,798件	387名
令和3年度	1,437,213件	5,286件	243名

○巡回文庫

巡回月	巡回先
6月,9月,12月,3月 年4回	玖波公民館
	栄公民館
	大竹会館

○事業

事業名	実施概要	参加名数等
おはなし会	5回	延べ36名
おひざにだっこのおはなし会	6回	延べ31名
親子で楽しむおはなし会	5回	延べ17名
えほんでハートフル	中止	中止
おはなしきかせて(らんらんカレッジサマースクール)	1回	9名
秋のおはなし会スペシャル	1回	14名
冬のおはなし会スペシャル	1回	16名
冬のおはなし会(クリスマスのおはなし会)	1回	30名
おはなし会スペシャル(わらべうたであそぼう)	中止	中止
歌い継ぎたい愛唱歌～国立国会図書館歴史的音源を聴く～	1回	5名
おはなしきかせて(大人のためのストーリーテリング)	1回	5名
楽しい音読教室	3回	延べ23名

○ギャラリーおおたけ(展示室)

(延べ人数)

区分	展示目的利用		展示目的外使用		合計	
	回数	利用人数	回数	利用人数	回数	利用人数
令和元年度	4回	3,082名	70回	2,968名	74回	6,050名
令和2年度	2回	859名	59回	1,716名	61回	2,575名
令和3年度	3回	1,146名	26回	1,370名	29回	2,516名

(6) 海の家あたた

(延べ人数)

区分	宿泊者	日帰り	利用者総数	使用料収入
令和元年度	343名	204名	547名	530,870円
令和2年度	83名	40名	123名	145,310円
令和3年度	169名	39名	208名	263,670円

(7) 自然の家やさか

(延べ人数)

区分	宿泊者	日帰り	利用者総数	使用料収入
令和元年度	952名	448名	1,400名	679,610円
令和2年度	212名	305名	517名	205,250円
令和3年度	352名	122名	474名	345,950円

(8) 手すき和紙作業所

(延べ人数)

区分	紙すき体験	見学・イベント	利用者総数
令和元年度	453名	357名	810名
令和2年度	141名	127名	268名
令和3年度	168名	81名	249名

4. スポーツ施設

(1) 総合体育館

○年間利用者数

(延べ人数)

区 分	開館 日数	スポーツ	トレーニング	武 道	スポーツ 以 外	合 計
令和元年度	341日	33,660名	22,553名	8,654名	9,262名	74,129名
令和2年度	343日	27,717名	13,025名	4,278名	1,846名	46,866名
令和3年度	329日	18,446名	9,193名	4,525名	4,182名	36,346名
				団体利用	個人利用	
				43,297名	30,832名	
				26,766名	20,100名	
				22,653名	13,693名	

(団体利用・個人利用の内訳)

○年間利用料収入

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
使用料収入	4,036,860円	2,777,410円	2,115,080円

(2) 人工登はん壁

区 分	件 数	人 数	使用料収入
平成19年度より利用中止。			

(3) 市民スポーツ広場 (大会時の駐車場利用を含む)

区 分	件 数	利用人数
令和元年度	649件	25,401名
令和2年度	564件	16,784名
令和3年度	447件	12,618名

(4) 学校プール開放事業

○年間利用者数

小方学園

(延べ人数)

区分	幼児	小学生	中学生	一般 (高校生以上)	団体・教室	合計
令和元年度	361名	1,065名	124名	881名	77名	2,508名
令和2年度	0名	0名	0名	0名	0名	0名
令和3年度	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

(5) さかえ運動公園

(延べ人数)

区分	グラウンド		多目的グラウンド		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
令和元年度	682件	16,051名	213件	4,042名	895件	20,093名
令和2年度	587件	12,356名	194件	4,185名	781件	16,541名
令和3年度	441件	8,963名	159件	2,978名	600件	11,941名

(6) 晴海臨海公園

ア. テニス場 (6面)・球技場・管理棟会議室

区分	①テニスコート		②球技場		③管理棟会議室		①～③ 使用料収入
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
令和元年度	2,438件	12,913名	217件	10,392名	39件	1,131名	3,832,800円
令和2年度	2,311件	11,152名	133件	8,212名	33件	817名	3,481,550円
令和3年度	1,688件	8,482名	67件	5,528名	30件	482名	2,624,580円

※テニスコート3面と球技場に夜間照明を整備し、平成27年度から供用を開始した。

※使用料収入には、テニス場・球技場の夜間照明及び放送設備、管理棟シャワー設備の使用料を含む。

イ. 多目的グラウンド, ゲートボール場

区分	④多目的グラウンド		⑤ゲートボール場		①～⑤合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
令和元年度	1,023件	90,518名	357件	7,140名	4,074件	122,094名
令和2年度	174件	66,710名	11件	6,020名	2,662件	92,911名
令和3年度	629件	20,506名	248件	4,960名	2,662件	39,958名

(7) 学校体育施設

○年間利用者数

ア. 大竹中学校

(延べ人数)

区分	グラウンド				体育館	
	昼間		夜間		件数	人数
	件数	人数	件数	人数		
令和元年度	2件	40名	30件	1,872名	449件	5,819名
令和2年度	0件	0名	13件	800名	277件	3,753名
令和3年度	0件	0名	13件	363名	172件	2,534名

区分	テニスコート		卓球場		武道場	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
令和元年度	92件	1,354名	0件	0名	188件	5,600名
令和2年度	84件	1,216名	6件	60名	56件	1,620名
令和3年度	69件	934名	0件	0名	55件	1,495名

イ. 小方中学校

(延べ人数)

区分	グラウンド				体育館	
	昼間		夜間		件数	人数
	件数	人数	件数	人数		
令和元年度	37件	805名	55件	1,510名	268件	4,124名
令和2年度	33件	800名	62件	1,910名	171件	2,385名
令和3年度	20件	560名	45件	1,350名	134件	1,694名

ウ. 玖波中学校

(延べ人数)

区分	グラウンド				体育館		武道場	
	昼間		夜間		件数	人数	件数	人数
	件数	人数	件数	人数				
令和元年度	13件	290名	8件	160名	69件	1,340名	2件	60名
令和2年度	7件	130名	1件	60名	50件	935名	0件	0名
令和3年度	1件	30名	0件	0名	65件	730名	0件	0名

エ. 大竹小学校

(延べ人数)

区 分	グ ラ ウ ン ド				体 育 館	
	昼 間		夜 間		件数	人 数
	件数	人 数	件数	人 数		
令和元年度	19 件	410 名	56 件	2,800 名	249 件	4,884 名
令和2年度	16 件	320 名	50 件	2,500 名	213 件	2,893 名
令和3年度	8 件	134 名	38 件	1,900 名	116 件	2,382 名

オ. 小方小学校

(延べ人数)

区 分	グ ラ ウ ン ド				体 育 館	
	昼 間		夜 間		件数	人 数
	件数	人 数	件数	人 数		
令和元年度	41 件	1,640 名	130 件	3,708 名	5 件	110 名
令和2年度	40 件	1,580 名	69 件	2,700 名	0 件	0 名
令和3年度	21 件	840 名	51 件	1,876 名	0 件	0 名

カ. 玖波小学校

(延べ人数)

区 分	体 育 館	
	件 数	人 数
令和元年度	16 件	240 名
令和2年度	4 件	60 名
令和3年度	0 件	0 名

※グラウンド開放はなし。

○学校体育施設 利用状況

区 分	中 学 校		小 学 校		総 合 計	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
令和元年度	1,213 件	22,974 人	516 件	13,792 人	1,729 件	36,766 人
令和2年度	710 件	13,669 人	392 件	10,053 人	1,102 件	23,722 人
令和3年度	574 件	9,690 人	284 件	7,132 人	858 件	16,822 人

○学校体育施設 使用料収入

区 分	中 学 校		小 学 校		総 合 計	
	施設使用料	夜間照明使用料	施設使用料	夜間照明使用料	施設使用料	夜間照明使用料
令和元年度	491,040 円	181,740 円	83,190 円	122,280 円	574,230 円	304,020 円
令和2年度	356,620 円	125,410 円	58,940 円	116,620 円	415,560 円	242,030 円
令和3年度	197,330 円	105,000 円	45,360 円	85,720 円	242,690 円	190,720 円

5. 社会教育関係委員

(1) 社会教育委員

○会議の開催

区 分	回 数	場 所	人 数
令和元年度	年1回	総合市民会館	5名
令和2年度	年1回	総合市民会館	5名
令和3年度	年1回	総合市民会館	9名

○社会教育委員（定数20名以内 任期2年 令和5年5月31日まで）

氏 名	現 職
小田 光範	元大竹市PTA連合会会長
児玉 正之	大竹市青少年育成市民会議会長
木村 美知代	大竹市体育協会会長
村中 弘幸	大竹市文化協会副会長
泉 隆子	大竹市自治会連合会女性部
増田 隆	広島県立大竹高等学校校長
渡部 智子	大竹市中学校長会代表
兼田 等	大竹市小学校長会代表
森本 雅和	大竹市PTA連合会会長
岩崎 静穂	大竹青年会議所専務理事
児玉 洋子	国際ソロプチミスト大竹会長

令和4年8月1日現在

(2) 文化財審議会委員

○会議の開催

区 分	回 数	場 所	人 数
令和元年度	年1回	総合市民会館	7名
令和2年度	年1回	総合市民会館	7名
令和3年度	年1回	総合市民会館	5名

○文化財審議会委員（定数10名以内 任期2年 令和4年10月31日まで）

氏 名	現 職
二階堂 百合子	学識経験者
木 村 武 臣	学識経験者
石 田 雅 春	広島大学文書館准教授
島 崎 陽 子	大竹古文書会会長
二階堂 直	学識経験者
山 本 竹 生	学識経験者
恵 谷 泰 典	(公財) 広島県教育事業団 事務局 埋蔵文化財調査室主任調査研究員

令和4年8月1日現在

(3) スポーツ推進委員

○会議の開催

区 分	回 数	場 所	人 数
令和元年度	年 12 回	総合市民会館	21 名
令和2年度	年 11 回	総合市民会館	20 名
令和3年度	年 6 回	総合市民会館	20 名

○スポーツ推進委員 (定数 23 名以内 任期 2 年 令和 6 年 3 月 31 日まで)

氏 名	地区
岡本 晶子	大 竹
角井 賢治	
上村 幸江	
正重 賢二	
竹之内 公夫	
松本 鶴男	
小野 佳子	川 手
倉本 正美	
柴田 喜代人	栗 谷
西尾 弘	

氏 名	地区
黒田 雅生	小 方
中村 和嗣	
中次 千穂	
小守 朗弘	
大知 司	
藤原 恵	玖 波
丹下 和昭	
福島 利啓	
守永 正行	
関 義之	松ヶ原

令和 4 年 8 月 1 日現在

6. 社会教育・社会体育施設等一覧

(令和4年3月末現在)

施設名	所在地	構造・床面積	施設概要	開館
総合市民会館	立戸一丁目 6-1	R造3階 8,823㎡	1階 老人福祉センター 2階 中央公民館 3階 中央公民館 (旧勤労青少年ホーム) 別棟 総合体育館 (2階建)	S 56.5
(1階) 老人福祉センター		(1,872)	大集会室, 小集会室, 美術工芸室, 図書室, 教養娯楽室(2), 機能回復, 訓練室, 男女浴室 (廃止)	
(2階) 中央公民館		(1,355)	研修室(2), 図書室, 児童室, 視聴覚室, 料理講習室, ホール	
(3階) 中央公民館 (旧勤労青少年ホーム)		(822)	集会室, 会議室, 音楽室, 研修室(2), 料理講習室, 軽運動室	
(別棟) 総合体育館		(4,774)	競技場, 武道場, トレーニン グルーム, 卓球場, 研修室, 会議室, 舞台, 楽屋, 医務室	S 55.4
図書館	立戸一丁目 6-1	R造 地下1階 地上2階 2,284㎡	開架室, 閉架室, 学習室, 点字録音室, 対面朗読室, 作業室, 児童コーナー, AVコーナー, 展示室, 郷土資料室	H元.4
大竹会館	本町一丁目 9-3	S造2階 1,089㎡	会議室5~8 (RoomA~D), 大集会室	R 3.2
(アゼリアホール)		R造一部S造3階 1,746㎡	会議室1~4 (RoomE~H), 講堂兼体育館, 和室, 駐車場	H 2.4
栄公民館	西栄三丁目 14-13	R造2階 (地下倉庫) 927㎡	和室, 研修室, 調理実習室, 図書室, 大ホール	S 56.4
玖波公民館	玖波 10-1	R造2階 (地下倉庫)	和室, 研修室, 調理実習室, 図書室, 大ホール	S 49.9
栗谷公民館 (農林振興センター)	栗谷町 小栗林652	R造2階 540㎡	農業経営研修室, 生活改善 実習室, 多目的研修集会室	S 56.4

施設名	所在地	構造・床面積	施設概要	開館
自然の家やさか	前飯谷4562	木造平屋建・ 一部鉄骨造2階 530㎡	宿泊室(3), 会議室, 集会室兼食堂, 厨房, 浴室等	S 63. 4
海の家あたた 阿多田島 集団宿泊研修施設	阿多田446	R造2階 714.14㎡	研修室(5), 50名収容 食堂兼ミーティングルーム 厨房, 浴室等	H 8. 7
阿多田島 灯台資料館	阿多田449	木造・レンガ造 平屋建	灯台資料館 83.81㎡ 倉庫 38.17㎡ 油庫 12.04㎡	H 8. 7
手すき和紙作業所 作業棟	防鹿3364-1 外	木造平屋 165.24㎡	こうぞ蒸し釜, そぶり場, カセイソーダ灰汁抜槽, アク抜きさらし槽, カルキ さらし槽, ビーター槽, トコロ貯蔵槽, 押し場, すき舟, 乾燥機, 製品仕上げ場, 原材料貯蔵場	H 7. 9
体験学習棟		木造平屋 49.68㎡	多目的スペース, 体験コーナー 展示コーナー等	H 31. 4
大竹市民 スポーツ広場	立戸一丁目 立戸二丁目 地内	6,250㎡	多目的コート 1,500㎡ 駐車場 550㎡ 多目的広場 3,200㎡ ゲートボール場 1,000㎡	H 14. 6
三倉岳人工 登はん壁	栗谷町 小栗林	鉄骨造	第51回国民体育大会山岳 競技用施設として建設 (高さ15.2m・幅19.5m・奥行5.0m)	H 8. 3 H19年度より 一般利用休止
栄公園	東栄一丁目7	1,500㎡ 3,000㎡ 6,000㎡ 12,500㎡	児童コーナー 多目的広場 運動広場 その他	S 49. 4
晴海臨海公園 テニスコート 球技場 遊具広場 多目的グラウンド ゲートボール場 管理棟	晴海二丁目11	32,000㎡ 960㎡ 285㎡	砂入り人工芝コート6面 (内夜間照明3面) 壁打練習コート1面 センター122m, 両翼100m, 内野:黒土 舗装, 外野:天然芝舗装, 観覧席 400人収容, 夜間照明6基 4ブロック 事務室, ロビー, 会議室, 更衣室, シャワー, トイレ	H 26. 4

施設名	所在地	構造・床面積	施設概要	開館
ひかり児童クラブ	白石二丁目1-1	R造1階 366.49m ²	生活室A 87.65m ² 生活室B 70.99m ² 生活室C 71.72m ² 支援員室 26.54m ² リフレッシュルーム 13.55m ²	H23.3
みどり児童クラブ	小方ヶ丘1-1	R造1階 342m ²	生活室A 104m ² 生活室B 80m ² 支援員室 20m ² リフレッシュルーム 24.77m ²	H25.3
あすなろ児童クラブ	玖波七丁目1-1	R造1階 199.0795m ²	生活室 98.3592m ² 支援員室 21.5130m ² リフレッシュルーム 16m ²	H29.2

※R造：鉄筋コンクリート造

7. その他資料

21世紀を担う人材育成事業（中学生交歓交流事業）

※ 平成2年度から実施

年 度	派 遣 先	期 間	参 加 者 数
平成11年度	沖縄県豊見城村	8月20日～8月24日	大竹市 19名 豊見城村 19名
平成12年度	大竹市	8月18日～8月21日	大竹市 17名 豊見城村 19名
平成13年度	沖縄県豊見城村	8月17日～8月21日	大竹市 16名 豊見城村 19名
平成14年度	大竹市	8月16日～8月19日	大竹市 17名 豊見城市 20名
平成15年度	沖縄県豊見城市	8月22日～8月26日	大竹市 15名 豊見城市 20名
平成16年度	大竹市	8月20日～8月23日	大竹市 16名 豊見城市 15名
平成17年度	沖縄県豊見城市	8月12日～8月16日	大竹市 16名 豊見城市 15名
平成18年度	大竹市	8月17日～8月20日	大竹市 16名 豊見城市 8名
平成19年度	沖縄県豊見城市	8月15日～8月19日	大竹市 16名 豊見城市 8名
平成20年度	大竹市	8月16日～8月20日	大竹市 9名 豊見城市 11名
平成21年度	沖縄県豊見城市	8月13日～8月17日	大竹市 9名 豊見城市 11名
平成22年度	大竹市	8月5日～8月8日	大竹市 6名 豊見城市 10名
平成23年度	沖縄県豊見城市	8月17日～8月20日	大竹市 6名 豊見城市 10名
平成24年度	大竹市	8月5日～8月8日	大竹市 13名 豊見城市 11名
平成25年度	沖縄県豊見城市	8月12日～8月15日	大竹市 12名 豊見城市 11名
平成26年度	大竹市	8月5日～8月8日	大竹市 10名 豊見城市 10名
平成27年度	沖縄県豊見城市	8月10日～8月13日	大竹市 10名 豊見城市 9名
平成28年度	大竹市	8月5日～8月8日	大竹市 14名 豊見城市 12名
平成29年度	沖縄県豊見城市	8月12日～8月15日	大竹市 14名 豊見城市 12名
平成30年度	大竹市	8月5日～8月8日	大竹市 13名 豊見城市 11名
令和元年度	沖縄県豊見城市で開催予定であったが、台風による天候悪化のため中止。		
令和2年度	大竹市で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
令和3年度	大竹市で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		

成人式出席状況

年度	対象者数		出席者数		出席率	
平成 23 年度	男性	166 名	男性	115 名	男性	69.3%
	女性	144 名	女性	101 名	女性	70.1%
	合計	310 名	合計	216 名	合計	69.7%
平成 24 年度	男性	202 名	男性	121 名	男性	59.9%
	女性	142 名	女性	92 名	女性	64.8%
	合計	344 名	合計	213 名	合計	61.9%
平成 25 年度	男性	164 名	男性	104 名	男性	63.4%
	女性	143 名	女性	104 名	女性	72.7%
	合計	307 名	合計	208 名	合計	67.8%
平成 26 年度	男性	173 名	男性	111 名	男性	64.2%
	女性	148 名	女性	103 名	女性	69.6%
	合計	321 名	合計	214 名	合計	66.7%
平成 27 年度	男性	170 名	男性	109 名	男性	64.1%
	女性	144 名	女性	97 名	女性	67.4%
	合計	314 名	合計	206 名	合計	65.6%
平成 28 年度	男性	160 名	男性	95 名	男性	59.4%
	女性	148 名	女性	93 名	女性	62.8%
	合計	308 名	合計	188 名	合計	61.0%
平成 29 年度	男性	131 名	男性	83 名	男性	63.4%
	女性	126 名	女性	87 名	女性	69.0%
	合計	257 名	合計	170 名	合計	66.1%
平成 30 年度	男性	149 名	男性	86 名	男性	57.7%
	女性	128 名	女性	62 名	女性	48.4%
	合計	277 名	合計	148 名	合計	53.4%
令和元年度	男性	137 名	男性	81 名	男性	59.1%
	女性	134 名	女性	85 名	女性	63.4%
	合計	271 名	合計	166 名	合計	61.3%
令和 2 年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和 3 年度に延期となり、令和 3 年 8 月 14 日（土）実施予定だったが、当日、気象状況の悪化により急遽式典の中止を決定。（※中止決定時、大雨警報発令・土砂災害：警戒レベル 3 相当） 記念写真撮影のため会場開放。新成人のみ限定公開でオンライン配信とした。					
令和 3 年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 4 年 5 月に延期して開催。					
	男性	188 名	男性	70 名	男性	37.2%
	女性	109 名	女性	58 名	女性	53.2%
	合計	297 名	合計	128 名	合計	43.1%